

NEC

MultiWriter2200X

ユーザーズマニュアル[3/3]

オプションと技術情報

このユーザズマニュアル[3/3]は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

プリンタを安全にお使いいただくために、このユーザズマニュアル[3/3]の指示に従って操作してください。

このユーザズマニュアル[3/3]には装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザズマニュアル[3/3]ならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告

指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



注意

指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の三種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。



	△記号は注意を怠ると、危険が発生するおそれがあることを示します。記号内の絵表示は危険の内容を図案化したものです。(注意の喚起)	 (感電注意)
	⊘記号は行為の禁止を表します。記号内や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。(行為の禁止)	 (接触禁止)
	●記号は行為の強制を表します。記号内の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。(行為の強制)	 (プラグを抜け)

ユーザーズマニュアルおよび警告ラベルで使用する記号とその内容


注意の喚起

	指示を守らないと、毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		指示を守らないと、感電のおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指示を守らないと火傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、発煙または発火のおそれがあることを示します。		指示を守らないと、指などがはさまれるおそれがあることを示します。

行為の禁止

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります。
---	---------------------------------------	---	--

行為の強制

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
---	---

商標について

PrintAgentは日本電気株式会社の商標です。

Microsoftとそのロゴ、およびWindows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

i486は米国Intel Corporationの商標です。

HP 7550は米国ヒューレット・パカード株式会社の商標です。

ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

漢字TalkはApple Computer, Inc.の登録商標です。

QuickDraw、LocalTalk、TrueTypeは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

TranXitはPuma Technology, Inc.の登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

NECパーソナルコンピュータプリンタシリーズ

MultiWriter2200X

ページプリンタ

ユーザーズマニュアル[3/3]

オプションと技術情報



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

海外でのご使用について

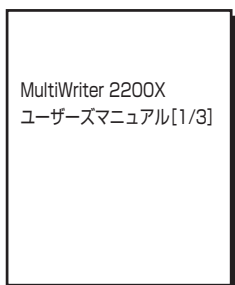
この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

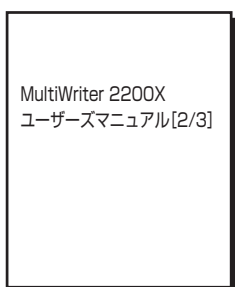
MultiWriter 2200Xは新しい高性能CPUを搭載し、より高速な印刷を可能にしたプリンタです。また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただけるNMPS (NEC MultiWriter Printing System)ソフトウェアを採用しています。このNMPSの機能により、Windowsに対する適応性を高め印刷速度の高速化やプリンタの状態や印刷の進行状況を確認したり、各種設定をコンピュータ側から行うことができます。

プリンタには3種類のマニュアルが添付されています。



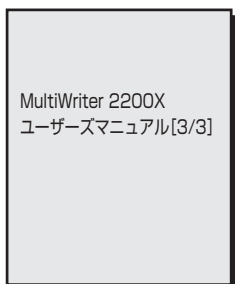
MultiWriter 2200X ユーザーズマニュアル[1/3] ～プリンタのセットアップ～

プリンタを箱から取り出し、設置し、印刷できるようにコンピュータを準備するまでの手順を説明しています。



MultiWriter 2200X ユーザーズマニュアル[2/3] ～プリンタ・ユーティリティの操作～

プリンタの機能を活用していただくための操作、日常の保守、正しく動作しない場合の対処方法を説明しています。



MultiWriter 2200X ユーザーズマニュアル[3/3] ～オプションと技術情報～

プリンタに取り付けると便利なオプションの種類と取り付け方や用紙の規格と印刷範囲などの技術情報について説明しています。

このユーザーズマニュアル[3/3]では、MultiWriter 2200Xの機能を更に活用していただくために用意されているオプションについて、取り付け方法から設定方法までを説明しています。

また、2200Xの仕様、用紙の規格、印刷範囲、インターフェース仕様など技術的情報についても詳しく説明しています。



本書は再セットアップする際に必要です。「保証書」や「NECサービス網一覧表」と共に大切に保管してください。

本書の読み方

1章 安全にお使いいただくために

プリンタを正しく取り扱っていただくために、特に重要な注意事項について説明しています。注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタの機能を十分に活用してください。

2章 オプションと消耗品




プリンタの機能を更に活用していただくため、豊富に用意されたオプションと消耗品について説明しています。オプションの取り付け方から設定方法までより詳しく説明しています。

3章 技術情報

プリンタの仕様、用紙の規格、印刷範囲、インタフェース仕様など技術的情報について詳しく説明しています。

本文中で使用の記号の意味

このユーザズマニュアル[3/3]では、表紙裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の3種類の記号を使っています。それぞれは次のように定義されています。

記号	内容
	マニュアルに記載されている注意事項および指示を守らないと、プリンタ本体が損傷する恐れがあることを示しています。
	プリンタを使用する際に守っていただきたいこと、およびプリンタを正しく動作させるための注意事項や補足説明を記載しています。
	プリンタを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

安全にかかわる表示について	
はじめに	iii
本書の読み方	iv
目次	v

1 安全にお使いいただくために

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2
オプションを準備する前に	2
オプションを取り付けるとき	3
取り付け後および操作中	4

2 オプションと消耗品

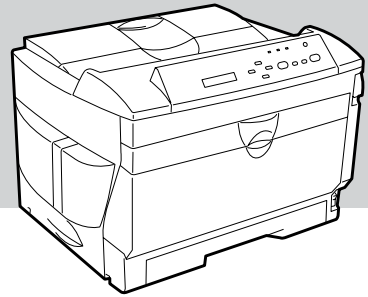
オプション	9
消耗品	12
増設ホッパ	13
増設カセット	23
赤外線通信インタフェースボード(PC-PR-R01)	25
赤外線通信インタフェースアダプタ(PC-CA291)	28
プロッタエミュレーションボード	31
マルチプロトコルLANボード	35
漢字アウトラインフォントカード	38
増設RAMサブボード	42

3 技術情報

仕様	45
用紙の規格と印刷範囲	47
NPD Lの初期状態	54
インタフェース	56
制御コード一覧	59
機能拡張制御コード	63
文字の種類	80
テスト印刷のプリント結果	82
文字コード表	86
ディスプレイ表示一覧	93
PrintAgent通知一覧	96
IBM DOS J5.0/Vでの設定	100

1

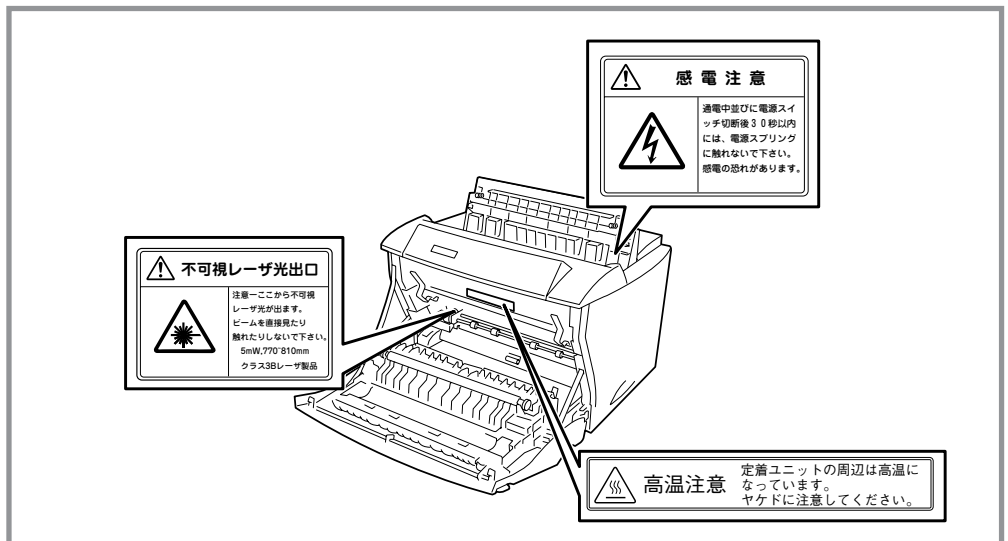
安全にお使い いただくために



警告ラベルについて

MultiWriter 2200Xプリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を、常にお客様に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読不能な状態であったら、販売店にご連絡ください。



警告ラベルの位置

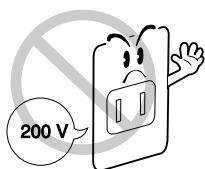
安全上のご注意

次ページ以降に示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の説明を参照してください。

オプションを準備する前に

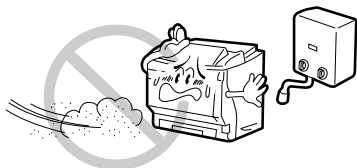
⚠ 注意

正しい電圧で



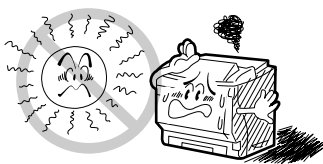
電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

ほこり・湿気の多い場所を避ける



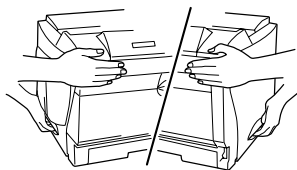
- プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
- プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

日の当たるところには置かない



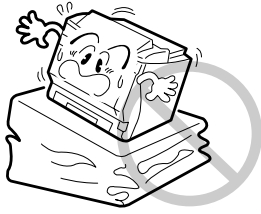
プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンタを運ぶときは



プリンタの重量約19kgの重さがあります（EPカートリッジ含まず）。装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手をそえて二人以上で運んでください。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

不安定な場所に置かない

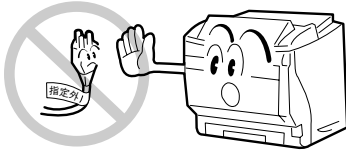


プリンタを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

オプションを取り付けるとき

⚠ 注意

指定以外の電源コードは使わない



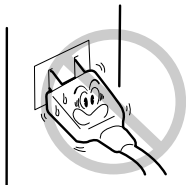
プリンタに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない



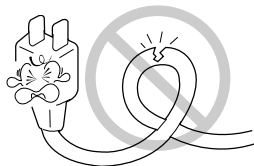
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災になるおそれがあります。

電源コードは曲げたり、ねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステップル等で固定することもおやめください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

警告

プリンタの内部をのぞかない



このプリンタはレーザー(レーザーダイオード)を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。

分解・修理・改造はしない



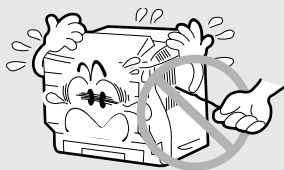
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。



注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない



操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたら触らない



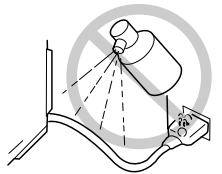
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

プリンタ内に水や異物を入れない



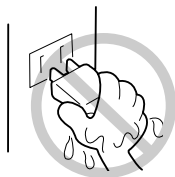
プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。

電源コードに薬品類をかけない



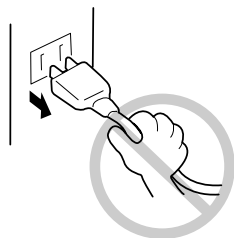
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



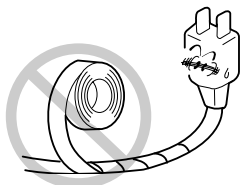
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電することがあります。

コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない



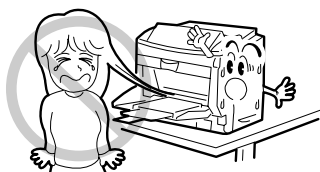
損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

高温注意



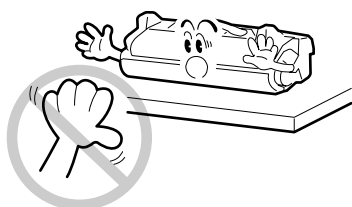
プリンタの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

巻き込み注意



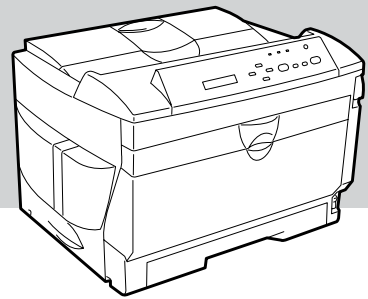
プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをすることがあります。

お子様に注意



EPカートリッジはお子様手の届かない所に保管してください。EPカートリッジに入っているトナーが、目や口等に入ったりすると健康を損なうことがあります。

2 オプションと 消耗品



次ページに内蔵／装着オプション一覧のイラストがありますので、取り付け位置をご確認ください。

- 増設ホッパ(250) (PR2200X-02)
- 増設ホッパ(500) (PR2200X-03)
- 増設カセット(250) (PR2200X-04)
- 増設カセット(500) (PR2200X-05)
- 赤外線通信インタフェースボード(PC-PR-R01)
- 赤外線通信インタフェースアダプタ(PC-CA291)
- プロッタエミュレーションボード(PR2200X-06)
- マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01)
- マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L02)
- 増設RANサブボード
- 漢字アウトラインフォント
- NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル(PC-PRNPDL2-RM)

内蔵／装着オプション一覧

赤外線通信インターフェースボード 25ページ

プリンタケーブルを必要とせず赤外線通信で印刷することができます。

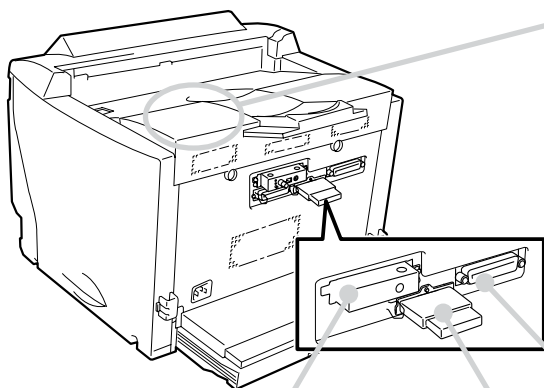
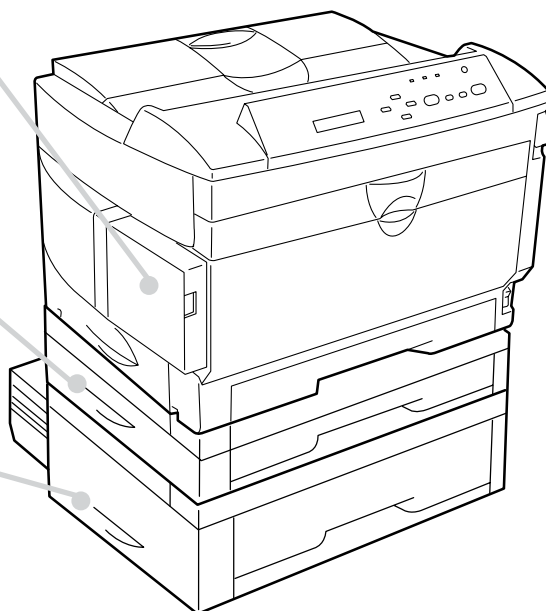
- PC-PR-R01(図示)
- PC-CA291

増設ホッパ(250) 13ページ

- ◇ A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ用の紙をセットできます。
- ◇ 250枚までセットできます。
- ◇ 上から2段目、3段目に増設できます。

増設ホッパ(500) 13ページ

- ◇ A3、A4、B4サイズの用紙をセットできます。
- ◇ 500枚までセットできます。
- ◇ 上から2段目、3段目に増設できます。



増設RAMサブボード 42ページ

アウトラインフォントを多用した文章などの印刷速度を向上させることができます。また、より多くのフォーム登録を可能にしたり、NPDLの印刷時におけるメモリ不足を解消することができます。

- PC-9821-ME2 (8MB)
- PC-9821-ME3 (16MB)
- PC-9821-ME4 (32MB)

プロッタエミュレーションボード 31ページ

プロッタHP 7550対応のアプリケーションから印刷することができます。

マルチプロトコルLANボード 35ページ

LANに接続したり、Macintoshから印刷したりすることができます。

- PC-PR-L01(10BASE2, 10BASE-T, LocalTalk)
- PC-PR-L02(100BASE-TX, 10BASE-T)

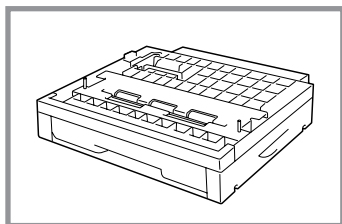
漢字アウトラインフォントカード 38ページ

明朝体、ゴシック体の他に、丸ゴシック体、教科書体、瑞筆行書体のいずれかの書体で印刷することができます。

オプション

ご購入にあたりましては、お買い上げの販売店またはもよりのBit-INN、NECマイコンショップなどにお問い合わせください。

増設ホッパ(250) (PR2200X-02)



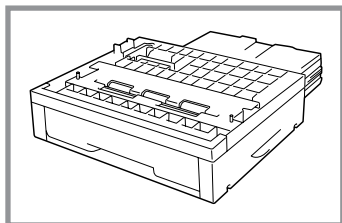
A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ用の紙(普通紙)を250枚までセットすることができます。

PR2000/4R-02は2200Xでは使用できません。お買い求めの際はご注意ください。

サイズ : 460(W)×566(D)×95(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
460(W)×491(D)×95(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)

重量 : 約5.3kg

増設ホッパ(500) (PR2200X-03)

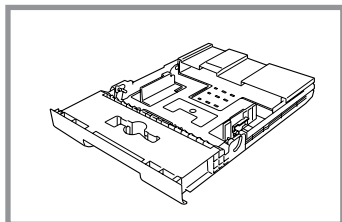


A3、A4、B4用の紙(普通紙)を500枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03は使用できません。お買い求めの際はご注意ください。

サイズ : 460(W)×590(D)×120(H)mm

重量 : 約6kg

増設カセット(250) (PR2200X-04)

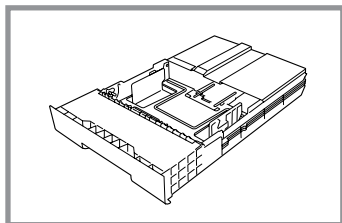


2200Xのホッパ、増設ホッパ(250)用の増設カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意して、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換して使用する場合に便利です。

サイズ : 387(W)×566(D)×54(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
387(W)×491(D)×54(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)

重量 : 約1.8kg

増設カセット(500) (PR2200X-05)

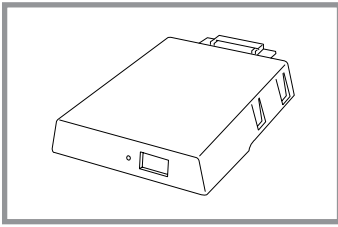


増設ホッパ(500)用の増設カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意して、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換して使用する場合に便利です。

サイズ : 387(W)×590(D)×79(H)mm

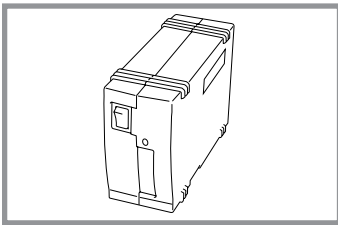
重量 : 約2.1kg

赤外線通信インターフェイスボード (PC-PR-R01)



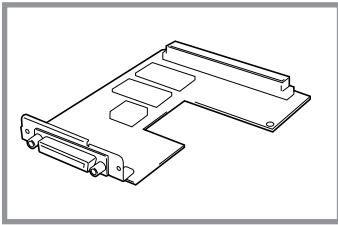
PC-PR-R01は、プリンタのフロントインタフェースコネクタに接続するプラグインタイプのインタフェースボードです。IrDA規格に準拠した赤外線送信機能を装備し、コンピュータとプリンタをワイヤレス(プリンタケーブルを使用しない)接続することができます。Windows 95環境のみ対応。

赤外線通信インターフェイスアダプタ (PC-CA291)



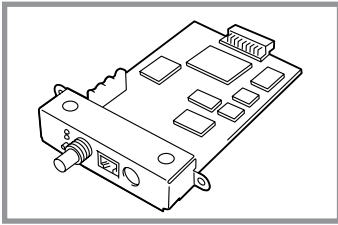
PC-CA291は、インタフェースケーブルを使ってプリンタに接続する外付けタイプのインタフェースアダプタです。IrDA規格に準拠した赤外線送信機能を装備し、コンピュータとプリンタをワイヤレス(プリンタケーブルを使用しない)接続することができます。Windows 95環境のみ対応。

プロッタエミュレーションボード (PR2200X-06)



横河ヒューレット・パッカード社のプロッタHP 7550のアプリケーションから印刷することができるプリンタ内蔵型のプロッタエミュレーションボードです。RS-232Cインタフェースとしても利用できます。2200XではPR2200X-06以外のプロッタエミュレーションボードは使用できません。お買い求めの際はご注意ください。

マルチプロトコルLANボード (PC-PR-L01)



10 BASE2、10 BASE-T、LocalTalkインタフェースを装備しているプリンタ内蔵型のLANボードです。PC-PR-L01はNetWare (IPX/SPX)、LANマネージャ (NetBEUI)、Windows NT (TCP/IP、DLC)、Windows 95、UNIX (TCP/IP(ftp、lpr))、Macintosh(AppleTalk)の各ネットワークに対応したマルチプロトコルLANボードです。また別売りの拡張プリンタドライバ(PR2200NW2-21)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

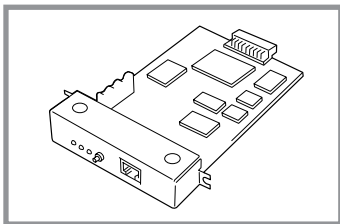


チェック

マルチプロトコルLANボード (PC-PR-L01)が対応しているネットワーク環境

NetWare:	NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)
Windows NT:	Windows NT3.1、3.5、3.51、4.0
LANマネージャ:	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LANサーバJ3.0
Windows 95:	添付のアプリケーションにより対応
Macintosh:	漢字Talk7.1.x、7.5、7.5.1、7.5.2、7.5.3、7.5.5、7.6(ただしQuickDraw GXには対応していません)
UNIX:	TCP/IP

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L02)



100 BASE-TX、10 BASE-Tに対応しているプリンタ内蔵型のLANボードです。

PC-PR-L02はNetWare (IPX/SPX)、Windows NT (TCP/IP、DLC)、Windows 95、UNIX (TCP/IP(ftp、lpr))の各ネットワークに対応したマルチプロトコルLANボードです。

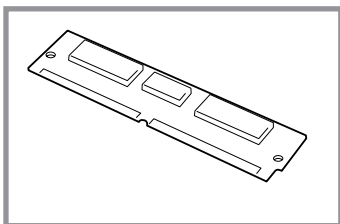


チェック

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L02)が対応しているネットワーク環境

NetWare:	NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)
Windows NT:	Windows NT3.1、3.5、3.51、4.0
Windows 95:	添付のアプリケーションにより対応
UNIX:	TCP/IP

増設RAMサブボード



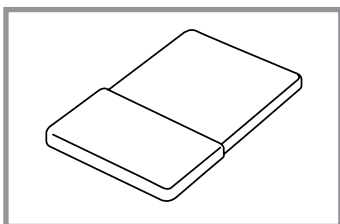
- PC-9821-ME2(8MB)
- PC-9821-ME3(16MB)
- PC-9821-ME4(32MB)

PC-9821-ME2、PC-9821-ME3、PC-9821-ME4は、それぞれ8MB、16MB、32MBのRAMを搭載した拡張メモリボードです。

アウトラインフォントを多用した文章や、増設ホッパ装着時の印刷速度を向上させることができます。また、より多くのフォーム登録を可能にしたり、印刷時におけるメモリ不足を解消することができます。

PC-9821-ME2、ME3、ME4以外の増設RAMサブボードは2200Xでは使用できませんのでお買い求めの際はご注意ください。

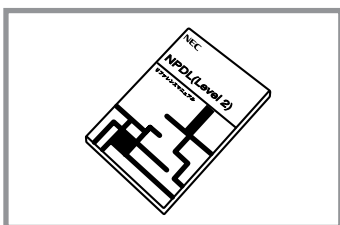
漢字アウトラインフォントカード



- 丸ゴシック体-M (PC-PRPF-01)
- 教科書体-M (PC-PRPF-02)
- 瑞筆行書体-M (PC-PRPF-03)

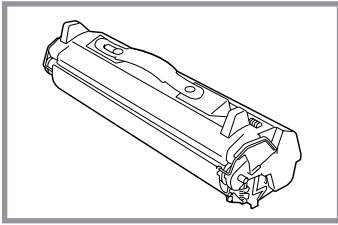
丸ゴシック体、教科書体、瑞筆行書体の各種フォントを使って印刷することができます(ESC/Pモードでは効果がありません)。

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル (PC-PRNPDL2-RM)



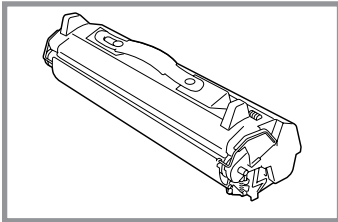
2200Xの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

EPカートリッジ (PR2200X-11)



1個あたり、約6,000ページ*の印刷が可能な標準EPカートリッジです(2200Xに1個添付されています)。

EPカートリッジ (PR2200X-12)



1個あたり、約12,000ページ*の印刷が可能なEPカートリッジです。

NECは使用済みEPカートリッジの回収を行っています。EPカートリッジはそのまま捨てないで、お買い求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。



チェック

各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。(ユーザーズマニュアル[2/3] 181ページ参照)

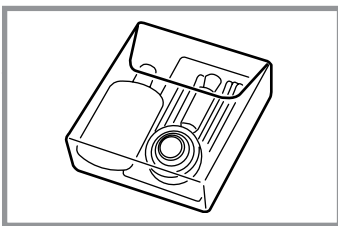
印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定、OPC寿命などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は、異なります。



重要

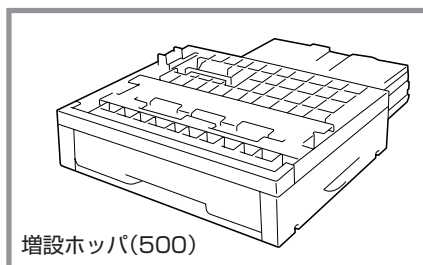
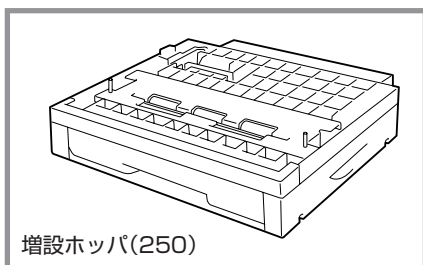
2200Xでご使用になれるEPカートリッジはPR2200X-11、PR2200X-12(取っ手が緑のもの)のみです。他のモデルのEPカートリッジでは代用できませんのでお買い求めの際はご注意ください。

クリーニングキット (PC-PR601-14)



プリンタの清掃に便利な用具一式が入っています(2200Xには添付されていません)。

増設ホッパ

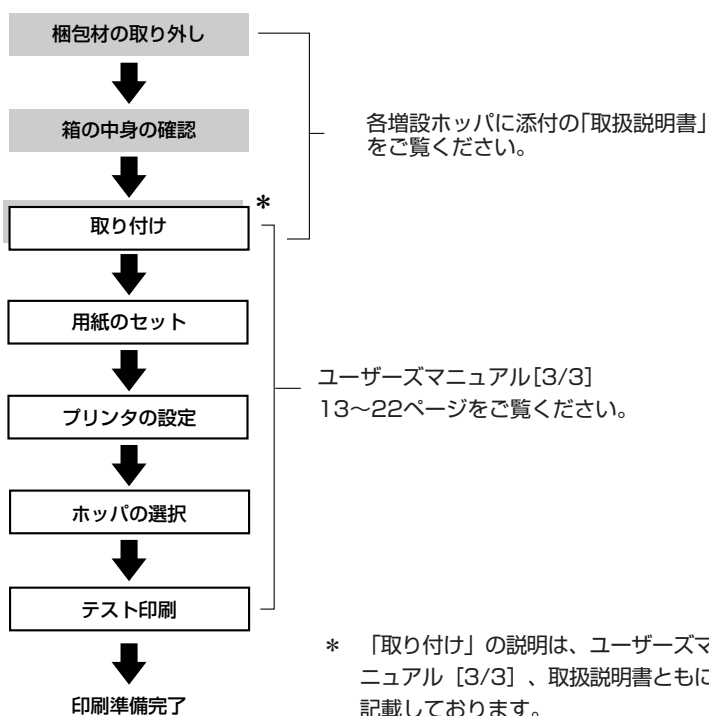


2200Xには、大量印刷をサポートするために2種類の増設ホッパが用意されています。

- PR2200X-02増設ホッパ(250)
- PR2200X-03増設ホッパ(500)

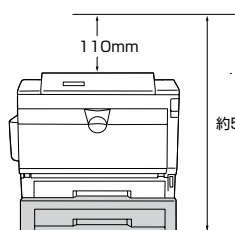
ここでは、PR-2200X-02増設ホッパ(250)、PR-2200X-03増設ホッパ(500)の取り付けから印刷するまでの手順と、増設ホッパの取り外し手順について説明します。

手順の流れは次のとおりです。それぞれの処理方法は本書または各増設ホッパに添付の取扱説明書で説明しています。

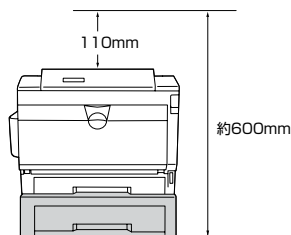


設置に必要なスペース

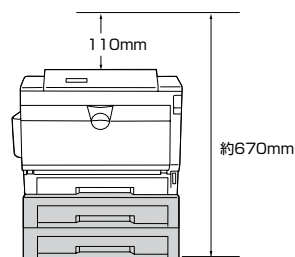
ここでは、設置に必要な高さを示します。プリンタの周囲に必要な設置スペースについてはユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください。



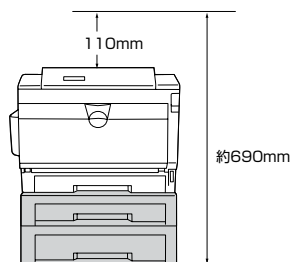
増設ホッパ(250)



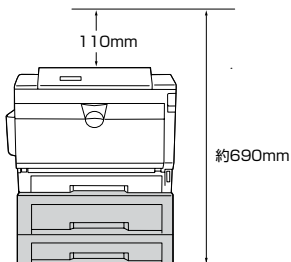
増設ホッパ(500)



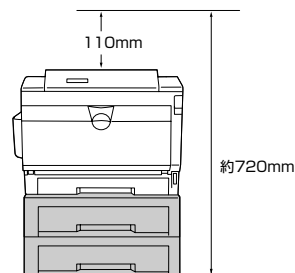
増設ホッパ(250)×2



増設ホッパ(250)+(500)



増設ホッパ(500)+(250)



増設ホッパ(500)×2

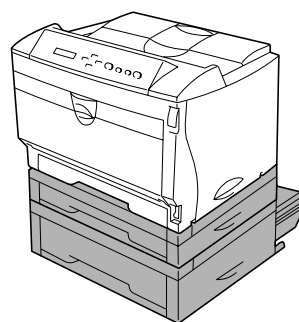
取り付け

増設ホッパ(250)／(500)は、上から2段目(ホッパ2)、3段目(ホッパ3)どちらにでも取り付けることができます。2段目と3段目に取り付ける方法は同じです。ここでは、2段目に取り付ける方法を示します。



注意

プリンタと標準ホッパは合わせて19kgの重さがあります。取り付けは必ず2名以上で行ってください。



- 1 プリンタの電源をOFFにし、電源コードとインタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。



電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

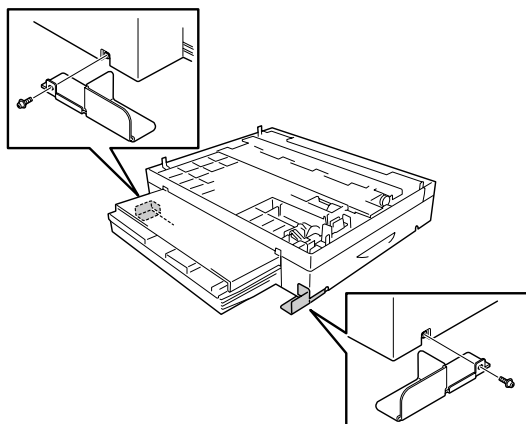
- 2 プリンタを一時的に移動します。

プリンタの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

3 増設ホッパにステーを取り付けます。



ステーは設置するとき一番下になるホッパ下側後方の切り欠き部に取り付けてください。



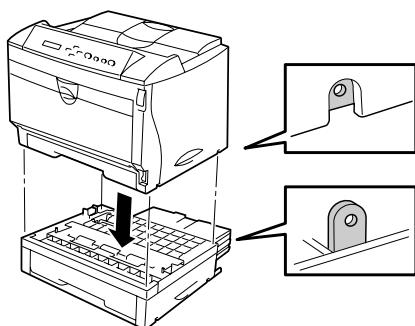
4 プリンタのあった場所に増設ホッパを置きます。



増設ホッパの向きに注意してください。

5 増設ホッパの上にプリンタを取り付けます。

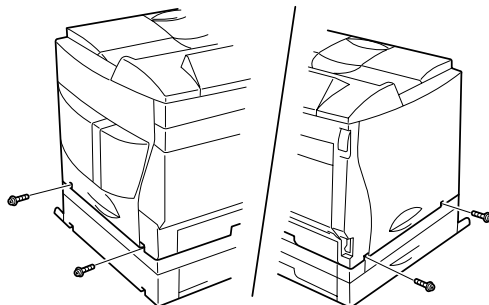
取り付けピンと接続コネクタに合わせて、プリンタを増設ホッパの上に静かに置きます。このとき、プリンタの切り欠き部と増設ホッパ側の取り付け金具が合っていることを確認します。



増設ホッパを3段目にも取り付ける場合は、3段目の増設ホッパを設置した後、2段目の増設ホッパ、プリンタの順でひとつずつ乗せてください。

6 プリンタと増設ホッパをネジで固定します。

ネジを固定する部分は、プリンタ左側面に2か所、右側面に2か所あります。必ず4か所、しっかりと固定してください。



増設ホッパを3段目にも取り付ける場合は、さらに4か所ネジで固定してください。

7 電源コードとインターフェースケーブルをプリンタに取り付けます。



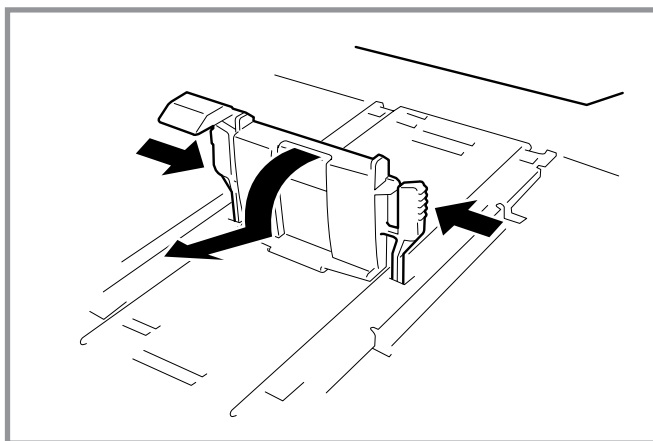
増設ホッパの用紙カセットにはカセット内にセットされている用紙サイズを外見から確認するための用紙ラベルセットが添付されています。カセット前面の見やすい場所に貼り付けてお使いください。

用紙のセット

増設ホッパへの用紙のセット方法は標準ホッパと同じです。**ユーザーズマニュアル[1/3]「用紙をセットする」**(25ページ)をご覧ください。

ただし、増設ホッパ(500)にセットできる用紙の種類、量は異なります。セットできる用紙はA3、B4、A4サイズを500枚までセットできます。また、増設ホッパ(500)の用紙カセットは縮ませることはできません。

増設ホッパ(500)のエンドガイドは、標準ホッパ、増設ホッパ(250)と形状が異なります。エンドガイドの取り外し、取り付けは以下のようにエンドガイドの左右のつまみを押しながら取り外し、取り付けを行ってください。また、エンドガイドはA3サイズの内紙をセットするときも使用します。



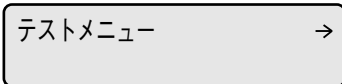
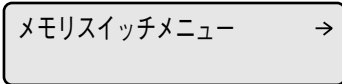
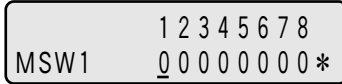
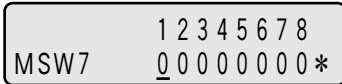
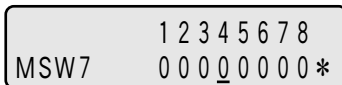
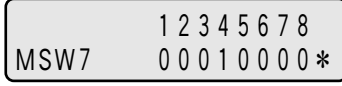
プリンタの設定

増設ホッパ(250)を初めてご使用になるときは、プリンタの設定を行う必要はありません。次の「ホッパの選択」へ進んでください。

ただし、増設ホッパ(500)を取り付けたり、増設ホッパ(500)から増設ホッパ(250)に変えたり、増設ホッパ(250)から増設ホッパ(500)に変えたときは、その段の設定を変更する必要があります。

2段目	増設ホッパ(500)		MSW7-4 ON	
	増設ホッパ(250)	→	増設ホッパ(500)	MSW7-4 ON
	増設ホッパ(500)	→	増設ホッパ(250)	MSW7-4 OFF
3段目	増設ホッパ(500)		MSW7-5 ON	
	増設ホッパ(250)	→	増設ホッパ(500)	MSW7-5 ON
	増設ホッパ(500)	→	増設ホッパ(250)	MSW7-5 OFF

次の手順は2段目に増設ホッパ(500)を取り付けたときの操作パネルによる設定の変更方法です。3段目に取り付ける場合も同様の手順で行います。また、リモートパネルを使って設定を変更することができます。詳しくはユーザーズマニュアル[2/3]「印刷の設定」をご覧ください。

- 1 プリンタの電源をONにし、印刷可スイッチを押して印刷可ランプを消灯させます。
- 2 メニュースイッチを押します。プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。
- 3 ▲スイッチを1回押します。“メモリスイッチメニュー →”と表示されます。
- 4 ▶スイッチを1回押します。MSW1が表示されます。
- 5 ▲スイッチまたは▼スイッチを押して、MSW7を表示させます。
- 6 ▶スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動させます。
- 7 設定変更スイッチを押して、MSW7-4をONに変更します。
- 8 印刷可スイッチ押して、メニューモードを終了させ設定完了です。

ホッパの選択

プリンタの設定が終わったらプリンタのホッパ選択を行います。増設ホッパから給紙するために操作パネルで操作して増設ホッパを取り付けたホッパ表示を「ホッパ2」または「ホッパ3」にします。増設ホッパの選択は、操作パネルから選択する以外に、プリンタドライバ、リモートパネルから選択することができます。詳しくは、[ユーザーズマニュアル\[2/3\]](#)「印刷の設定」をご覧ください。

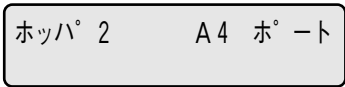
ホッパの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- ① プリンタが初期化されるまで維持する方法
- ② プリンタが初期化されても増設ホッパが選択される方法

以下にそれぞれの選び方について説明します。

① プリンタが初期化されるまで維持する方法

操作パネルのホッパスイッチを使って増設ホッパを選択します。

- 1 印刷可スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させます。
- 2 ホッパスイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ2”または“ホッパ3”にします。
- 3 印刷可スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させます。
- 4 コンピュータからデータを送ります。

この状態は、以下の方法で変更しない限り選択されたホッパ設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパの選択を変更する
- トレー給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピュータから変更
- プリンタを初期化する

② プリンタが初期化されても増設ホッパが選択される方法

メニュー機能内のプリンタの初期設定を設定変更します。

1 印刷可スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させます。

2 メニュースイッチを押します。プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。

テストメニュー →

3 ▼スイッチを2回押します。“ヨウシメニュー →”と表示されます。

ヨウシメニュー →

4 ▶スイッチを2回押します。ホッパ初期設定の表示になります。

ホッパ° ショキセッテイ
← ホッパ° 1*

5 設定変更スイッチを押して、ディスプレイ下段を“← ホッパ2*”または“← ホッパ3*”に変更します。

ホッパ° ショキセッテイ
← ホッパ° 2*

6 印刷可スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させます。

ホッパ° 2 A4 ホ° ート
NPD L

ディスプレイ上段に“ホッパ2 ×× ×××”または“ホッパ3 ×× ×××”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

この状態は、電源投入時、トレー給紙からホッパ給紙に切り替えたとき、プリンタを初期化したとき、常に選択された増設ホッパが表示されます。

テスト印刷

増設ホoppaが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。

1 ディスプレイに“ホppa2”または“ホppa3”と表示されていることを確認します。

2 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。

3 メニュースイッチを1回押します。ディスプレイには、“テストメニュー →”と表示されます。

テストメニュー →

4 ▶スイッチを1回押します。ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ →”と表示されます。

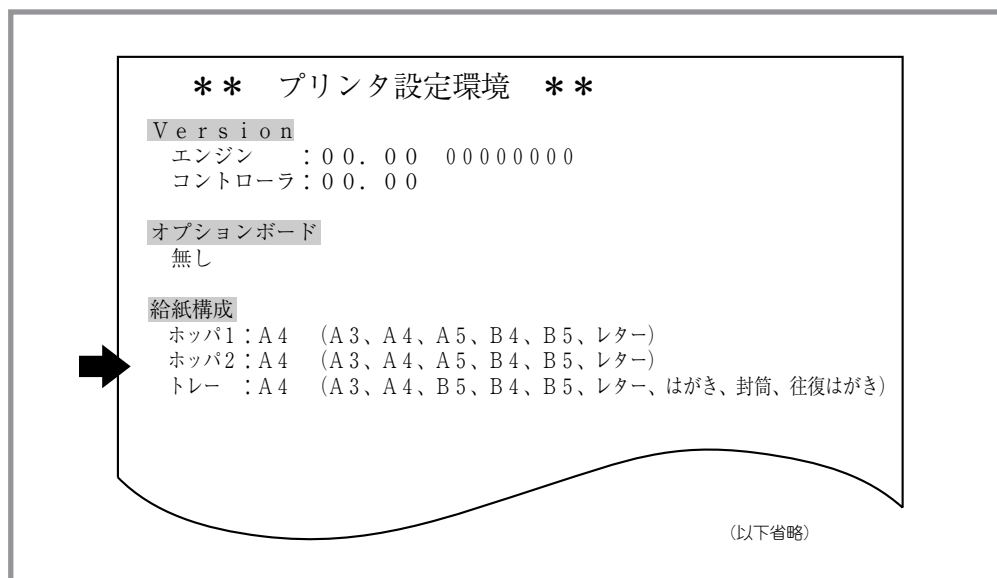
テストメニュー
←ステータスインサツジッコウ→

5 さらに▶スイッチを1回押します。

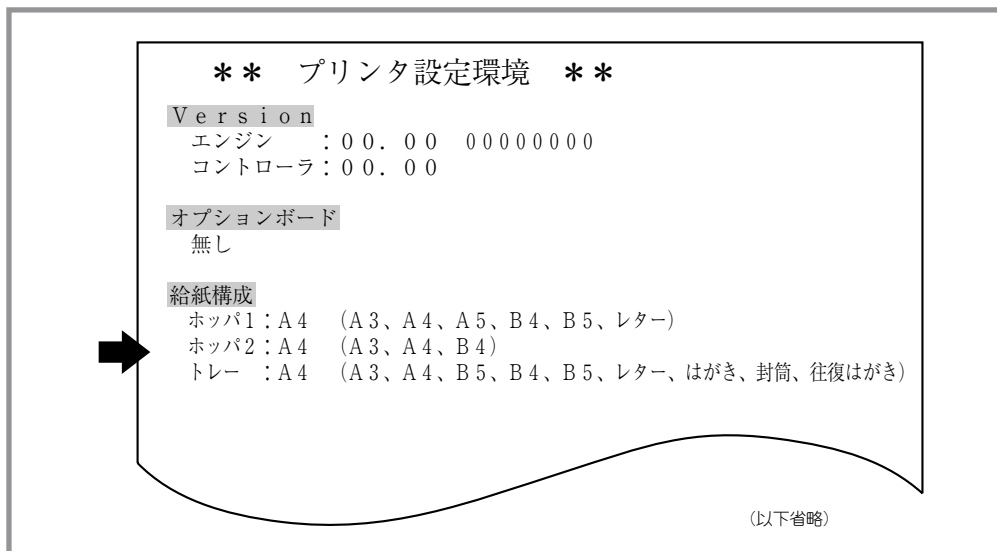
テストインサツチュウ

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

用紙が正常に給紙され、2段目に増設ホppaが取り付けられた場合、次のように「ホppa2」と印刷されていれば増設ホppaは確実に取り付けられていることとなります。3段目に取り付けた場合は「ホppa3」と印刷されます。



増設ホppa(250)のステータス印刷



増設ホッパ(500)のステータス印刷

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。
これで、増設ホッパの取り付けは完了です。

取り外し

次の手順で増設ホッパを取り外してください。2段目と3段目の取り外し方法は同じです。ここでは2段目を取り外す方法を示します。

⚠ 注意

プリンタと標準ホッパは合わせて19kgの重さがあります。取り外しは必ず2名以上で行ってください。

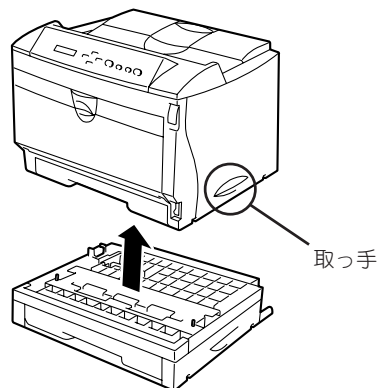
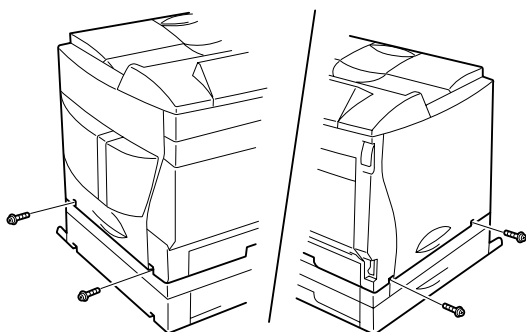
- 1** プリンタの電源をOFFにし、電源コード、インタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。
- 3** プリンタを増設ホッパから取り外し、一時的に台や机の上に置きます。

- 2** プリンタと増設ホッパを固定しているネジを取り外します。

ネジはプリンタ右側面に2か所、左側面に2か所あります。必ず4か所取り外してください。



プリンタを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンタが破損することがあります。

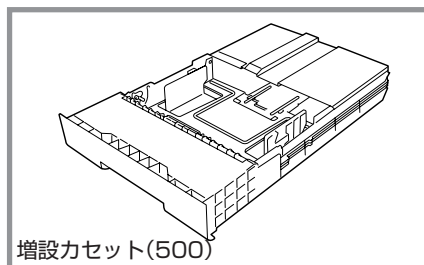
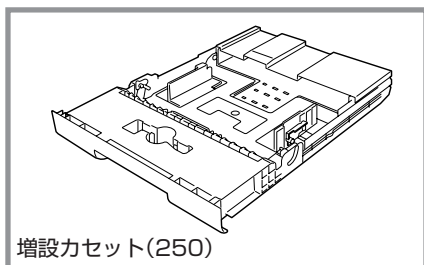


チェック

3段目の増設ホッパの取り外しの場合、さらに4か所ネジを取り外します。

- 4** 増設ホッパを台の上から外します。
- 5** プリンタを元の位置に置きます。
- 6** 電源コードとインタフェースケーブルを取り付けます。

増設カセット



印刷する用紙サイズを変更する場合、用紙カセット内の用紙を交換することなく、用紙カセットごと交換できるように2200Xでは2種類の増設カセットが用意されています。

- PR2200X-04増設カセット(250)
- PR2200X-05増設カセット(500)

PR2200X-04増設カセット(250)は、プリンタ本体の用紙カセットと、PR2200X-02増設ホッパ(250)の用紙カセットと交換することができます。

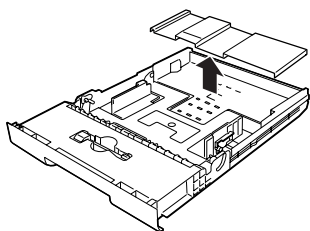
PR2200X-05増設カセット(500)は、PR2200X-03増設ホッパ(500)の用紙カセットと交換することができます。

ここでは増設カセットを用紙カセットと交換する手順について説明します。

取り付け

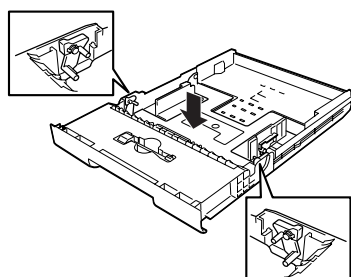
増設カセット(250)と増設カセット(500)の取り付ける方法は同じです。
ここでは増設カセット(250)を取り付ける方法を示します。

- 1 カセットカバーを取り外します。



- 2 増設カセット内の板金を押し、確実に下がっていることを確認します。

板金が押し下がっていないと、増設カセットをホッパに取り付けることができません。



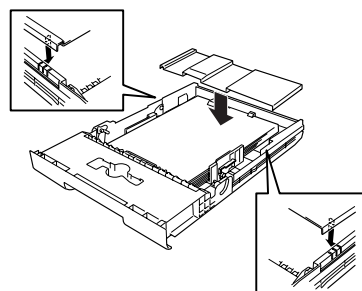
- 3 用紙をセットします。



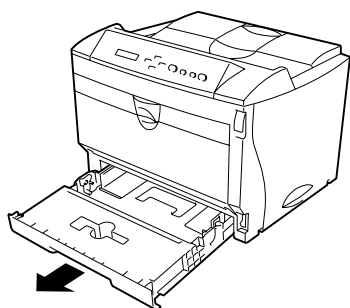
チェック

- 用紙のセット方法はユーザーズマニュアル[1/3]「用紙のセット」、ユーザーズマニュアル[3/3]「増設ホッパ」をご覧ください。
- 増設カセット(250)に比べて増設カセット(500)にセットできる用紙サイズは限定されています。セットできる用紙サイズを確認の上正しい用紙サイズをセットしてください。

- 4 カセットカバーをカセットに溝に合わせて元に戻します。

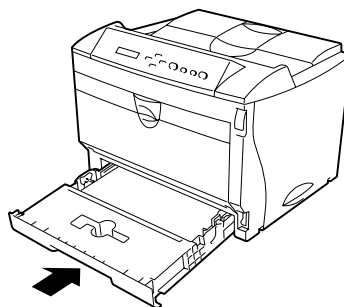


5 セットしてある用紙カセットがあればその用紙カセットを引き抜きます。



6 増設カセットをプリンタに差し込みます。

増設カセットはゆっくり確実に差し込んでください。



チェック

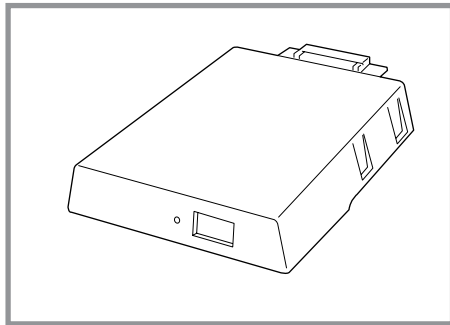
増設カセットを取り外すときは上記手順を逆に行ってください。



ヒント

増設カセットにはカセット内にセットされている用紙サイズを外見から確認するための用紙ラベルセットが添付されています。カセット前面の見やすい場所に貼り付けてお使いください。

赤外線通信インタフェースボード(PC-PR-R01)



PC-PR-R01は直接プリンタのコネクタ(前面)に接続するプラグインタイプのインタフェースボードです。これによりプリンタはIrDA規格に準拠した赤外線送信機能を装備しているコンピュータからワイヤレスでデータ受信できるようになります。IrDA規格に準拠しているコンピュータであれば最大4Mbpsのデータ速度で通信が可能です。



重要

赤外線通信インタフェースボードは片方向(コンピュータ→プリンタ)でのみ通信が可能です。PrintAgentのように両方向通信(コンピュータ↔プリンタ)が必要な機能は使用できません。

動作環境

PC-PR-R01は、以下に示す条件をすべて満たす操作環境で動作します。

コンピュータ

以下に示す条件をすべて満たすNEC PC-9800シリーズまたはDOS/V対応機*のコンピュータに対応しています。

- i486以上のCPU(i486 33MHz以上を推奨)
- 7.6MB以上のRAM
- 7MBのハードディスク空き容量
- マウスまたはWindowsで利用できるポインティングデバイス(推奨)
- Windows 95(日本語版)のOS環境を備えている
- 赤外線送信機能付き(IrDA規格準拠)
- ボードに添付のTranXit™ 3がインストールされている



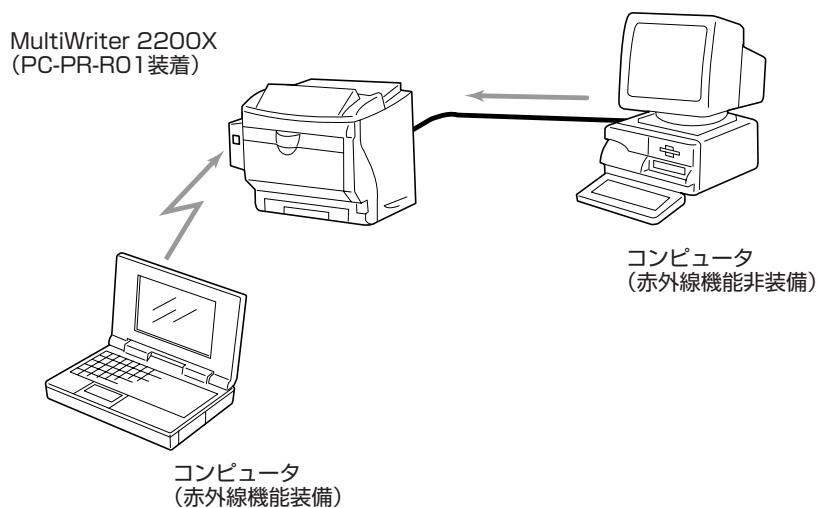
チェック

- ボードのコネクタ部には手を触れないでください。手を触れると、コネクタ部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。
- ボードの赤外線受光部には手を触れないでください。手を触れると、受光部が汚れ、コンピュータとの通信状態が不良となる場合があります。

*IBM PC/AT 100%互換機

接続例

コンピュータとプリンタに接続した例を以下に示します。この場合、PC-PR-R01はプリンタ背面に直接接続されているコンピュータからのデータと赤外線送信機能付きコンピュータからのデータを自動的に切り替えます。



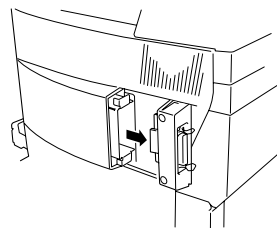
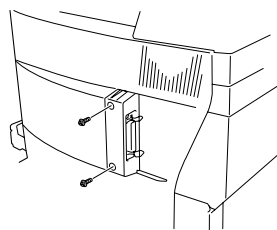
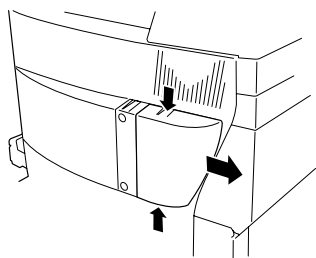
赤外線通信インタフェースボードの取り付け

- 1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、インタフェースケーブル(前面、背面とも)プリンタから取り外します。
- 3 フロントインタフェースコネクタのネジ2本を外し、フロントインタフェースコネクタを手前に引き抜きます。



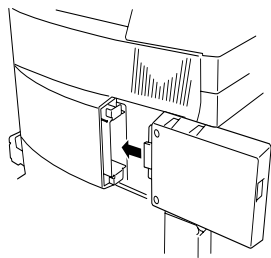
電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

- 2 プリンタ側面のフロントコネクタカバーの上下を押しながら手前に取り外します。

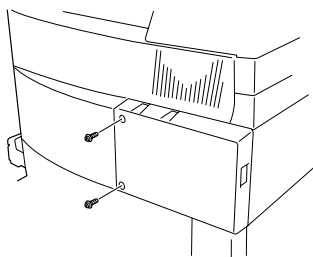


- 4** 受光部を手前にしインタフェースボードをフロントコネクタのガイド部に沿って差し込みます。

カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。



- 5** インタフェースボードをネジ2個で固定します。



- 6** 電源コードを取り付けプリンタの電源をONにします。

- 7** インタフェースボード前面のLEDが点灯することを確認します。

- 8** プリンタをコンピュータから1m以内に設置します。

PC-PR-R01の赤外線受光部とコンピュータの赤外線ポートとの間の距離を1m以内とし、この間に障害物を置かないようにしてください。

- 9** 赤外線通信インタフェース取扱説明書に従い、TranXit 3をインストールし、赤外線通信を行うためのソフトウェアの設定を行います。

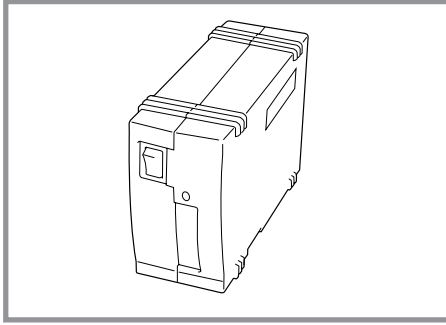
TranXit 3をインストールする前にあらかじめNMPSソフトウェアをインストールしておいてください。インストール方法はユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください。



チェック

赤外線通信インタフェースボードを取り外すときは、上記の手順5から逆に行ってください。

赤外線通信インタフェースアダプタ(PC-CA291)



PC-CA291はインタフェースケーブルを使ってプリンタに接続する外付け型のインタフェースアダプタです。これによりプリンタはIrDA規格に準拠した赤外線送信機能を装備しているコンピュータからワイヤレスでデータ受信できるようになります。IrDA規格に準拠しているコンピュータであれば最大4Mbpsのデータ速度で通信が可能です。



赤外線通信インタフェースアダプタは片方向(コンピュータ→プリンタ)でのみ通信が可能です。PrintAgentのように両方向通信(コンピュータ⇄プリンタ)が必要な機能は使用できません。

動作環境

PC-CA291は、以下に示す条件をすべて満たす操作環境で動作します。

コンピュータ

以下に示す条件をすべて満たすNEC PC-9800シリーズまたはDOS/V対応機*のコンピュータに対応しています。

- i486以上のCPU(i486 33MHz以上を推奨)
- 7.6MB以上のRAM
- 7MBのハードディスク空き容量
- マウスまたはWindowsで利用できるポインティングデバイス(推奨)
- Windows 95(日本語版)環境を備えている
- 赤外線送信機能付き(IrDA規格準拠)
- アダプタに添付のTranXit 3がインストールされている



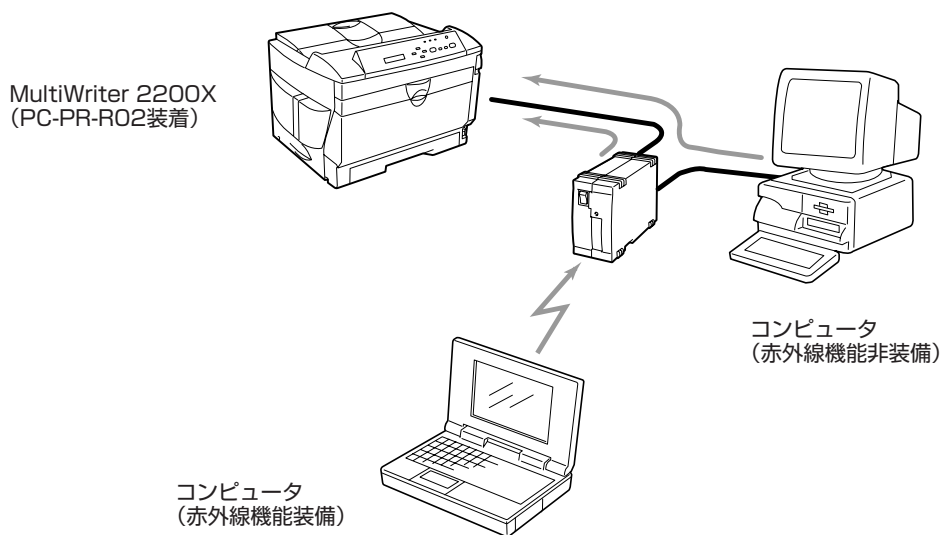
チェック

- アダプタのコネクタ部には手を触れないでください。手を触れると、コネクタ部の接点汚れ、接触不良になることがあります。
- アダプタの赤外線受光部には手を触れないでください。手を触れると、受光部が汚れ、コンピュータとの通信状態が不良となることがあります。

*IBM PC/AT 100%互換機

接続例

コンピュータとプリンタに接続した例を以下に示します。この場合、PC-CA291はアダプタ前面にあるスイッチで通信をケーブル接続されているコンピュータと赤外線通信機能付きコンピュータに切り替えることができます。

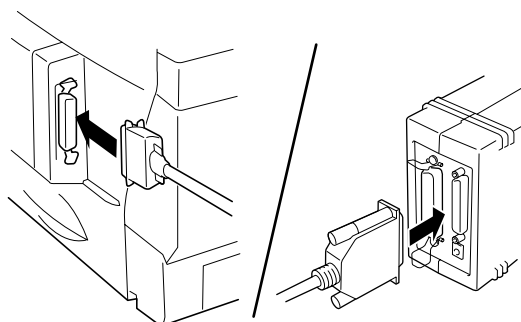


赤外線通信インタフェースアダプタの取り付け

- 1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、インタフェースケーブル(前面、背面とも)プリンタから取り外します。
- 2 PC-CA291とプリンタを添付のインタフェースケーブルで接続します。

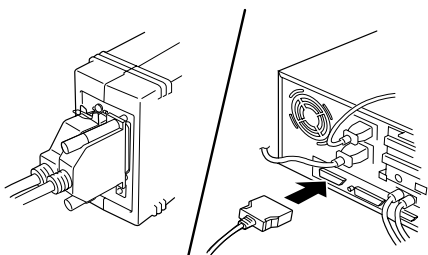


電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

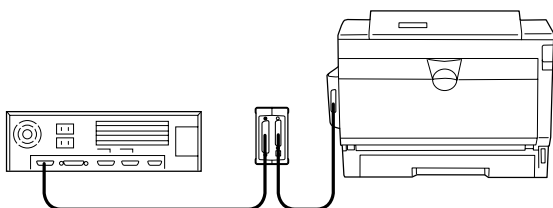


3 同時に他のコンピュータからもデータを受信したい場合は以下のように接続します。

お使いになれるケーブルは直接プリンタに接続するときの当社指定のプリンタケーブルと同じです(詳細はユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください)。



赤外線通信とインタフェースケーブルによる通信を可能にした接続は以下ようになります。

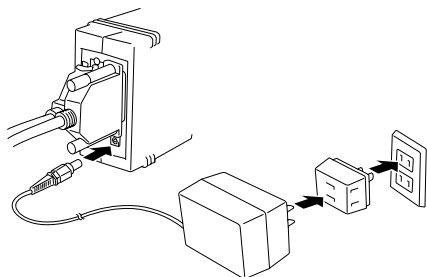


4 ACアダプタのコネクタをPC-CA291に接続し、ACアダプタ本体を壁付きコンセントに差し込みます。

ACアダプタを差し込むことによって他の差し込みがふさがってしまう場合は添付のACタップをご利用ください。

⚠ 注意

ACアダプタはテーブルタップなどでタコ足配線されたコンセントには差し込まないでください。またこのACタップには1500W以上の容量のACコンセントを差し込まないでください。過熱し、火災や感電の原因となることがあります。



チェック

赤外線通信インタフェースアダプタを取り外すときは、上記の手順6から逆に行ってください。

5 PC-CA291前面のLEDが赤色点灯することを確認します。

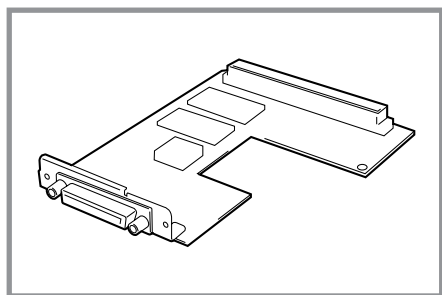
もし緑色点灯している場合はアダプタ前面の通信切り替えスイッチを切り替えて赤外線通信モードに設定してください。

6 プリンタ、コンピュータの順に電源をONにします。

7 赤外線通信インタフェース取扱説明書に従いTranXit 3をインストールし、赤外線通信を行うためのソフトウェアの設定を行います。

TranXit 3をインストールする前にあらかじめNMPSソフトウェアをインストールしておいてください。インストール方法はユーザーズマニュアル[1/3]をご覧ください。

プロッタエミュレーションボード



2200Xに『プロッタエミュレーションボード』を取り付けることにより、プロッタHP 7550の言語 (HPGL) を使用できるようになるため、CADなどのアプリケーションからの印刷が可能になります。またRS-232Cインタフェースとして使用することも可能です。

プロッタエミュレーションボード上のRS-232Cインタフェースをご使用の場合は、次の表を参照して、使用するコンピュータに合うRS-232Cケーブルを別途お求めください。

使用しているコンピュータ	RS-232Cケーブル
PC-9801 PC-9821シリーズ(下記以外)	PC-CA602 PC-9896 PC-9897
PC-H98	PC-H98-K02
PC-9801 NL/A, NS/A PC-9821 Nr166, Nr150, Nr15, Nr13, Nr12, Na13, Na12, Na9, Na7, Nb10, Nb7, Ls150, La13, Ls12, La10, La7, Nf, Np, Nx, Es, Ne2, Nd, Ld, Nm, Lt, Ne3, Nd2, Lt2, Ns	PC-98HA-16

ここでは、プロッタエミュレーションボードの取り付け手順を説明します。使い方や操作方法については、プロッタエミュレーションボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

ボードの取り付け



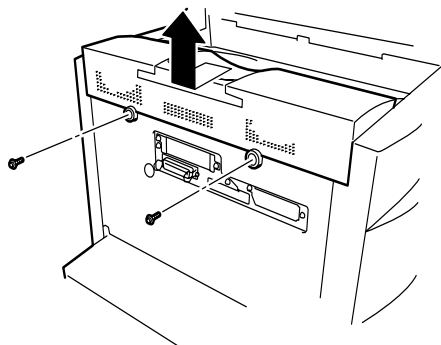
プロッタエミュレーションボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、リアインタフェースコネクタが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品や端子、半田付け面には触れないようにしてください。

- 1** プリンタの電源をOFFにし、電源コード、インタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。

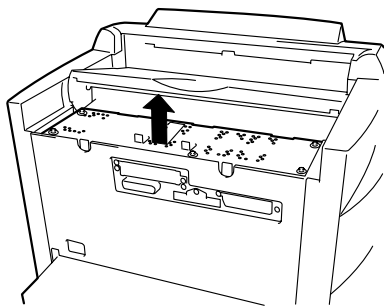


電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因になることがあります。

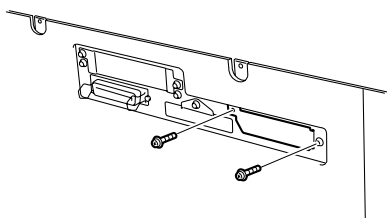
- 2** プリンタ上部にあるリアカバーをネジ2本を回して取り外します。



- 3** コントロールカバーに矢印で指示された5か所のネジをゆるめ、コントロールカバーを取り外します。

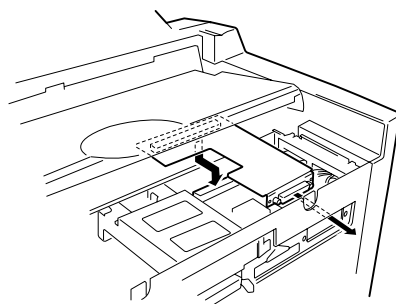
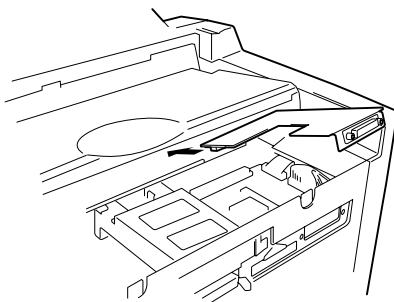


- 4** プロッタボード用スロットのプレートを取り外します。

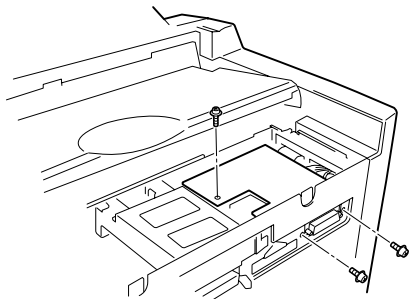


プロッタボード用スロットのプレートはボードを取り外し、プリンタをもとに戻すとき必要です。大切に保管しておいてください。

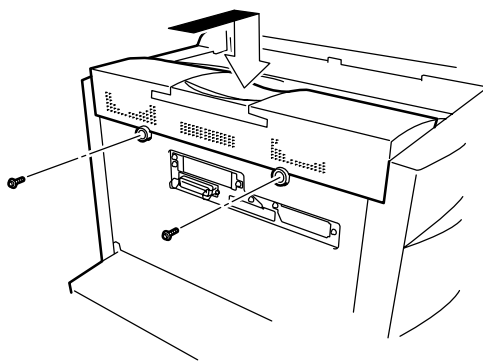
- 5** RS-232Cコネクタ側をプロッタボード用スロットに差し込み、プリンタのコネクタとボードのコネクタを接続します。



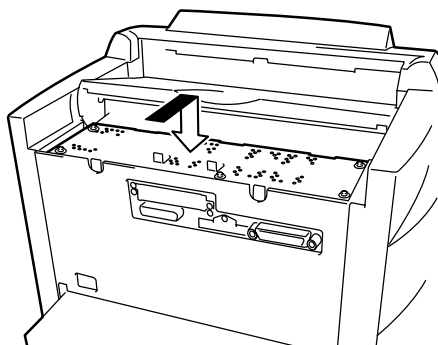
6 ネジ3本でプロッタエミュレーションボードを固定します。



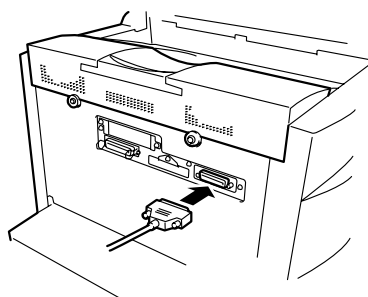
8 リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定します。



7 コントロールカバーを取り付け、矢印で指示された5か所のネジで固定します。



9 RS-232C用インタフェースケーブルを取り付けます。



10 電源コードを取り付けます。



チェック

プロッタエミュレーションボードを取り外すときは、上記の手順を逆に行ってください。

テスト印刷

プロッタエミュレーションボードが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。次の方法で行ってください。

1 プリンタの電源をONにします。

2 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。

3 メニュースイッチを1回押します。

“テストメニュー →”と表示されます。

テストメニュー →

4 ▶スイッチを1回押します。

ディスプレイ下段に“←ステータスインサツジツッコウ→”と表示されます。

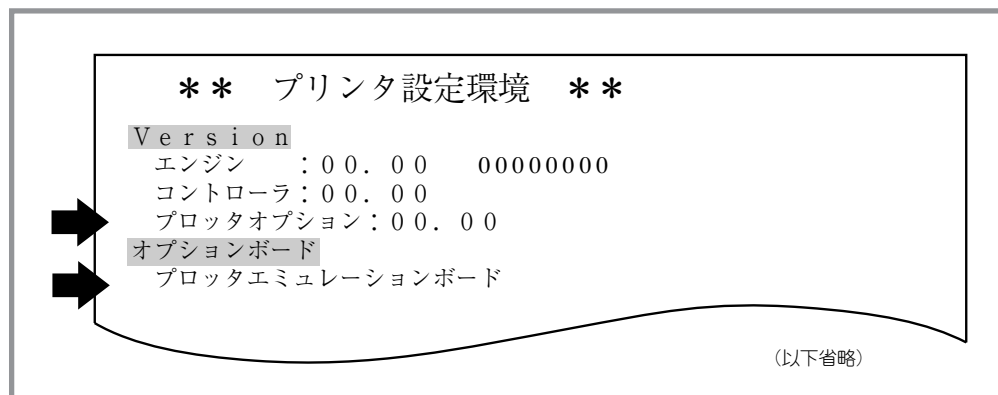
テストメニュー
←ステータスインサツジツッコウ→

5 さらに▶スイッチを1回押します。

テストインサツチュウ

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

次のように「プロッタエミュレーションボード」と印刷されていれば、プロッタエミュレーションボードは確実に取り付けられていることになります。



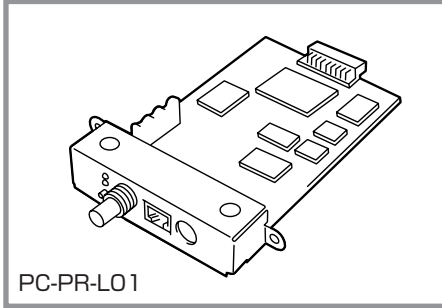
プロッタエミュレーションボードのステータス印刷

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、プロッタエミュレーションボードの取り付けは完了です。

マルチプロトコルLANボード

2200Xには各種のネットワークに接続するマルチプロトコルLANボードが2種類用意されています。

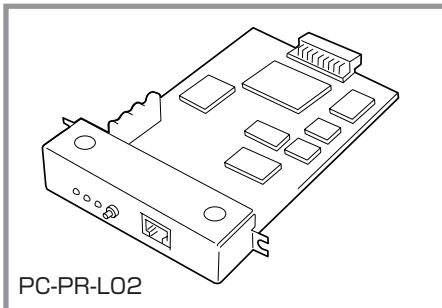
- PC-PR-L01
- PC-PR-L02



「PR-PR-L01 マルチプロトコルLANボード」は2200X本体に内蔵できる、10BASE-T、10BASE2、LocalTalkに対応したボードです。NetWare(IPX/SPX)、LANマネージャ(NetBEUI)、Windows NT(TCP/IP、DLC)、UNIX(TCP/IP (ftp、lpr))、Macintosh(AppleTalk)の各ネットワークに対応しています。

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01)が対応しているネットワーク環境は以下のとおりです。

- ◆ NetWare..... NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)
- ◆ Windows NT Windows NT3.1、3.5、3.51、4.0
- ◆ LANマネージャ OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LANサーバJ3.0
- ◆ Windows 95 添付のアプリケーションにより対応
- ◆ Macintosh 漢字Talk7.1.x、7.5、7.5.1、7.5.2、7.5.3、7.5.5、7.6(ただしQuickDraw GXには対応していません)
- ◆ UNIX..... TCP/IP



「PC-PR-L02 マルチプロトコルLANボード」は、2200X本体に内蔵できる、100BASE-TX、10BASE-Tに対応したボードです。NetWare(IPX/SPX)、Windows NT(TCP/IP、DLC)、UNIX(TCP/IP(ftp、lpr))の各ネットワークに対応しています。

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L02)が対応しているネットワーク環境は以下のとおりです。

- ◆ NetWare..... NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)
- ◆ Windows NT Windows NT3.1、3.5、3.51、4.0
- ◆ Windows 95 添付のアプリケーションにより対応
- ◆ UNIX..... TCP/IP



上記のボードを取り付けた場合は、プリンタ背面のセントロニクスインタフェースは使用できなくなります。セントロニクスインタフェースを使用する場合は、プリンタ前面のインタフェースを使用してください。

LANボードをお使いになるには、ネットワーク用ケーブルが必要です。使用する環境に合わせて、以下に示すケーブルを別途お求めください。

2200XとMacintoshとをLocalTalkで接続する場合は、Macintoshのマニュアルを参照して接続してください。

PC-PR-L01の場合

- ◆ 10 BASE-T …… PC-9868-21, PC-9868-22, PC-9868-28, PC-9868-29
- ◆ 10 BASE2 …… PC-9867-21, PC-9867-22, PC-9867-23

PC-PR-L02の場合

- ◆ 100 BASE-TX …… PC-9868-28, PC-9868-29
- ◆ 100 BASE-T …… PC-9868-21, PC-9868-22, PC-9868-28, PC-9868-29



チェック

PC-PR-L01を使用し、Macintoshから印刷を行うには、別売のPR2200NW2-21 拡張プリンタドライバが必要です。
また、Macintoshからの印刷においては、両面印刷、リプリント機能、ジョブセパレート機能などサポートしていない機能があります。

次にLANボードの取り付け手順を説明します。PC-PR-L01、PC-PR-L02の取り付け手順は同じです。使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。ここでは、PC-PR-L01マルチプロトコルLANボードを取り付ける場合の手順を示します。



チェック

LANボードは正しく取り付けられていても、ステータス印刷の「オプションボード」の欄に印刷されません。正しく取り付けられたかどうかはコンフィギュレーションページの印刷を行って確認します（詳細はLANボードの取扱説明書を参照ください）。

ボードの取り付け



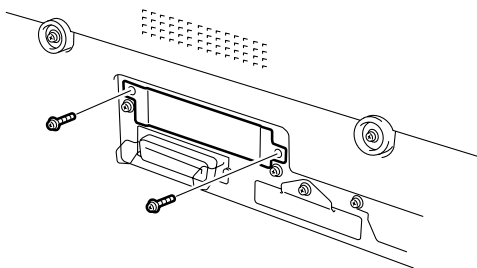
マルチプロトコルLANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、リアインタフェースコネクタが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

- 1 プリンタの電源をOFFにし、電源コードとインタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。



電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

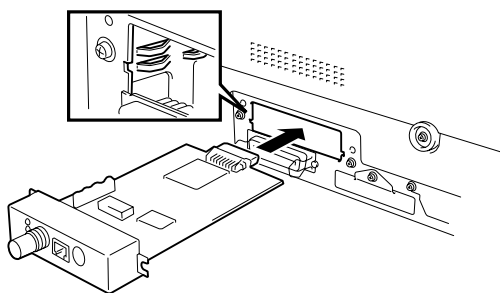
- 2 LANボード用スロットのプレートを取り外します。



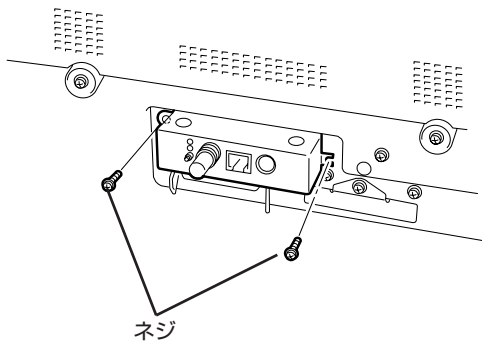
LANボード用スロットのプレートはボードを取り外しプリンタをもとに戻すときに必要です。大切に保管しておいてください。

- 3 LANボードにあるLEDを手前にして、ガイドレールに沿ってLANボードを差し込みます。

カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。



- 4 ネジ2本でボードを固定します。



- 5 接続用のケーブルを取り付けます。

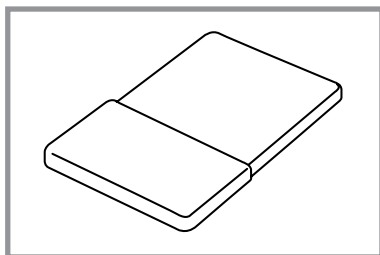
- 6 電源コードを取り付けます。

- 7 コンピュータに接続して正しく動作することを確認してください。



マルチプロトコルLANボードを取り外すときは、上記の手順を逆に行ってください。

漢字アウトラインフォントカード



2200Xは、明朝体アウトラインフォントとゴシック体アウトラインフォントの2書体を印刷することができますが、アウトラインフォントカードを取り付けることにより、さらに1書体のフォントが使えるようになります。

アウトラインフォントカードには、次の3種類があります。

- ◆ 丸ゴシック体 - M **これが丸ゴシック体-Mの書体サンプルです。**
- ◆ 教科書体 - M **これが教科書体-Mの書体サンプルです。**
- ◆ 瑞筆行書体 - M **これが瑞筆行書体-Mの書体サンプルです。**

ここでは、アウトラインフォントカードの取り付けと、カードを使って印刷を行うための設定方法を説明します。



チェック

ESC/PEモードでは、アウトラインフォントカードの効果がありません。

フォントカードの取り付け

- 1 プリンタのスイッチをOFFにします。



重要

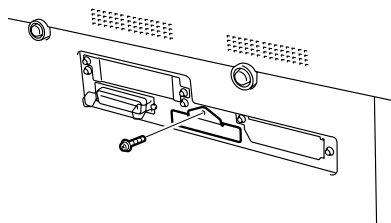
電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

- 2 プリンタ背面のブランクプレートをネジを回して取り外します。

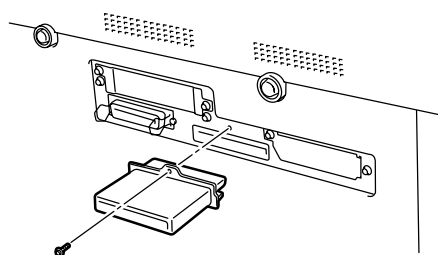


チェック

ブランクプレートはカードを取り外し、プリンタを元に戻すときに必要です。大切に保管しておいてください。

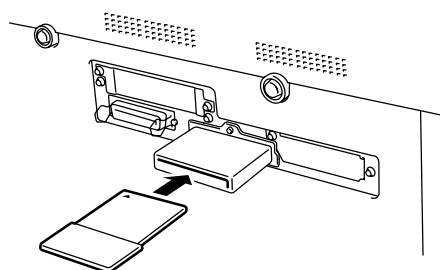


3 プリンタに添付されているフォントカードガイドをフォントカードガイド用スロットに取り付けます。



4 フォントカードスロットにフォントカードを差し込みます。

フォントカードに記載してある▶を上にして差し込んでください。



漢字アウトラインフォントを取り外すときは上記の手順を逆に行ってください。

テスト印刷

フォントカードの取り付けが終わったら、正しく取り付けられたことを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。

1 プリンタの電源をONにします。

2 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。

3 メニュースイッチを1回押します。

“テストメニュー →”と表示されます。

テストメニュー →

4 ▶スイッチを1回押します。

ディスプレイ下段に“←ステータスインサツジツコウ”と表示されます。

テストメニュー
←ステータスインサツジツコウ→

5 さらに▶スイッチを1回押します。

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

テストインサツチュウ

次のように取り付けたフォントカードのフォント名が印刷されていれば、確実に取り付けられていることとなります。

** プリンタ設定環境 **		
Version		
エンジン	: 00. 00	00000000
コントローラ	: 00. 00	
カードスロット		
書体番号	ファイル名	フォント名
151	NRG5-ZA	FontAvenue丸ゴシック体-M (NRG5-ZA)
(以下省略)		

丸ゴシック体-M

** プリンタ設定環境 **		
Version		
エンジン	: 00. 00	00000000
コントローラ	: 00. 00	
カードスロット		
書体番号	ファイル名	フォント名
351	NKY5-ZA	FontAvenue教科書体-M (NKY5-ZA)
(以下省略)		

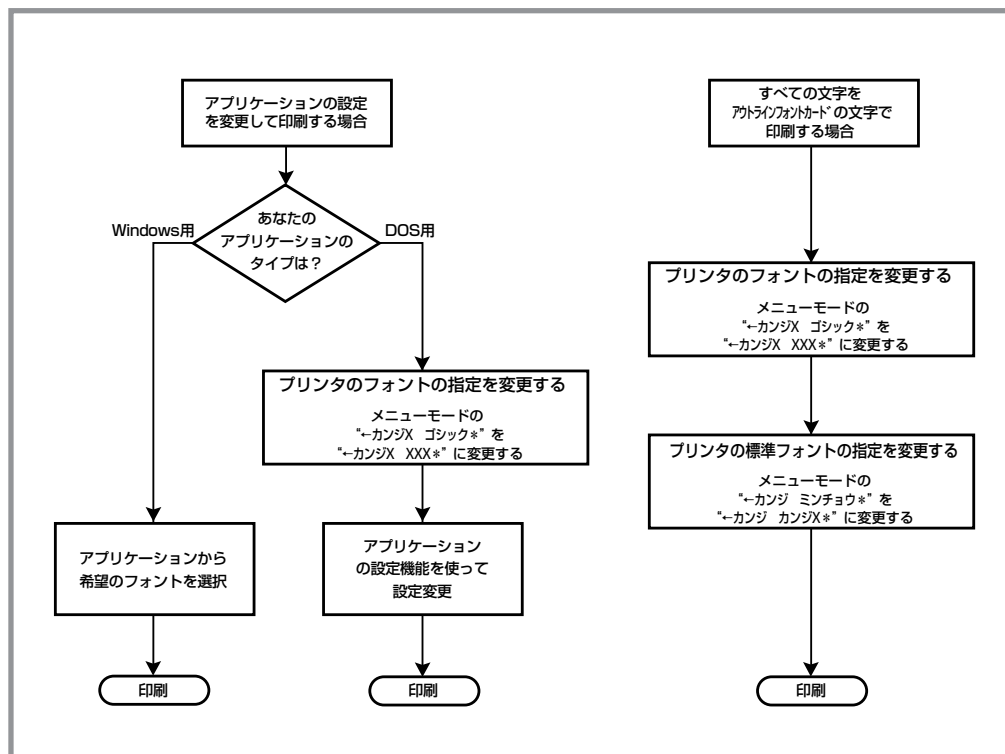
教科書体-M

** プリンタ設定環境 **		
Version		
エンジン	: 00. 00	00000000
コントローラ	: 00. 00	
カードスロット		
書体番号	ファイル名	フォント名
451	NGY5-ZA	FontAvenue瑞筆行書体-M (NGY5-ZA)
(以下省略)		

瑞筆行書体-M

フォントカードを使って印刷するには

フォントカードを使って印刷するには、アプリケーションまたはプリンタの設定を変更します。変更方法は、使用しているアプリケーションによって異なります。また、アプリケーションで設定変更せずに、すべての文字をカードのフォントで印刷することもできます。次のフローチャートに従って、設定方法を確認してください。



フォントカードを使った印刷

Windows用アプリケーションを使用しているときは、アプリケーションから希望のフォントを選択すれば、アウトラインフォントカードのフォントを印刷することができます。

DOS用アプリケーションを使用しているときは、フォントの指定を変更した後(プリンタのメニューモードの“←カンジX ゴシック*”を、“←カンジX XXX*”に変更)、各アプリケーションのプリンタ設定機能を利用して設定を変更すれば、印刷することができます。(設定変更方法は、[ユーザーズマニュアル\[2/3\]](#)をご覧ください。)

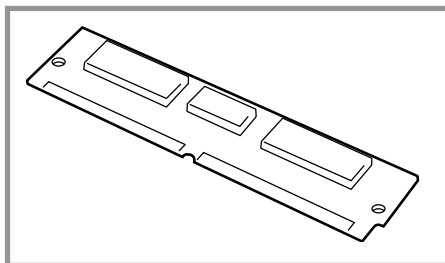
すべての文字を漢字アウトラインフォントカードの文字で印刷することもできます。その場合はフォントの指定を変更した後、標準フォントの指定を変更(プリンタのメニューモードの“←カンジ ミンチョウ*”を“←カンジ カンジX*”に変更)します。(設定変更方法は、[ユーザーズマニュアル\[2/3\]](#)をご覧ください。)



チェック

Windows用アプリケーションは、プリンタドライバが直接フォントを指定するので、メニューモードの設定には影響されません。

増設RAMサブボード



2200Xは、8メガバイト(8MB)、16メガバイト(16MB)または32メガバイト(32MB)の増設RAMサブボードを取り付けることで、アウトラインフォントを多用した文書などの印刷速度を向上させたり、より多くのフォーム登録を可能にしたり、印刷時のメモリ不足を解消することができます。

2200Xは増設RAMサブボードを1つだけ取り付けることができます。



必ず指定のEDOタイプの増設RAMサブボードを使用してください。EDOタイプ以外の増設RAMサブボードを使用すると、故障の原因となることがあります。

増設メモリ	メモリ総容量
なし	8MB(標準)
8MB	16MB
16MB	24MB
32MB	40MB

サブボードの取り付け



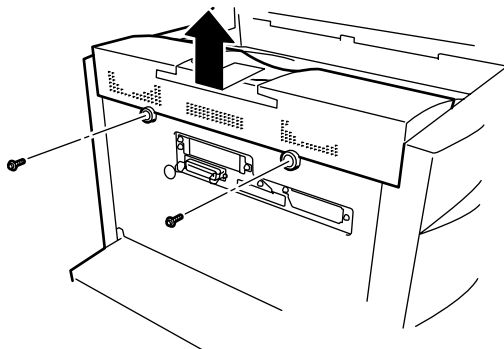
増設RAMサブボードは大変デリケートな電子部品です。サブボードを取り扱うときは、リアインタフェースコネクタが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コードとインタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。

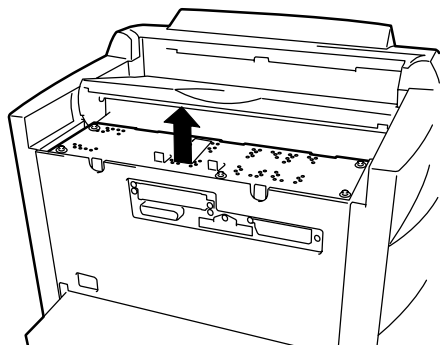
2 プリンタ上部にあるリアカバーをネジ2本を回して取り外します。



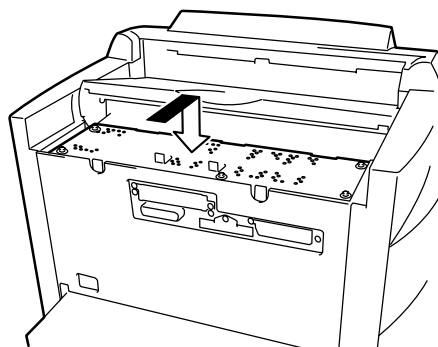
電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。



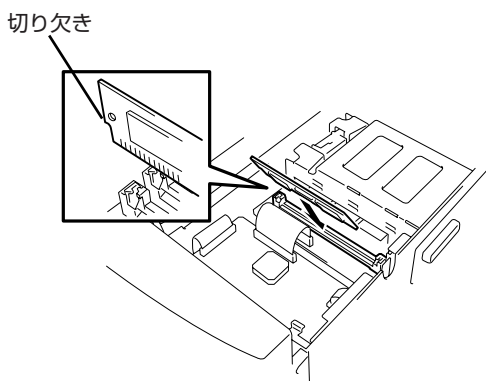
- 3** コントロールカバーに矢印で指示された5か所のネジをゆるめ、コントロールカバーを取り外します。



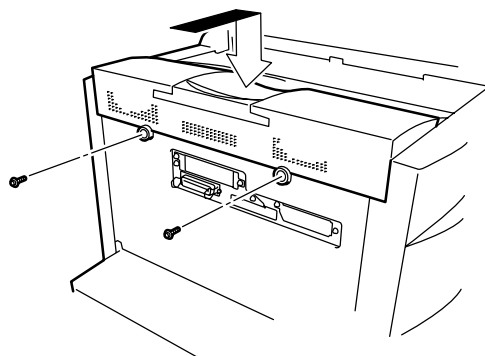
- 6** コントロールカバーを取り付け、矢印で指示された5か所のネジで固定します。



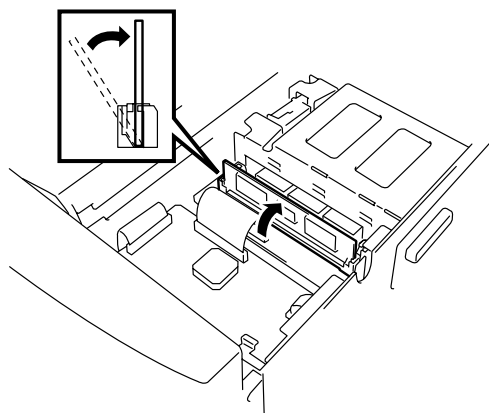
- 4** 切り欠きがプリンタ前面を向くようにして、約30度の角度でボードの端をソケットに押し込みます。



- 7** リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定します。



- 5** 十分に押し込んだことが確認できたら、「カチッ」という音が出るまでボードを起こします。



- 8** 電源コードとインターフェースケーブルを取り付けます。



チェック

増設RAMサブボードを取り外すときは、上記の手順を逆に行ってください。

テスト印刷

増設RAMサブボードが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。

- 1 プリンタの電源をONにします。
- 2 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。
- 3 メニュースイッチを1回押します。

“テストメニュー →”と表示されます。

テストメニュー →

- 4 ▶スイッチを1回押します。

ディスプレイ下段に“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

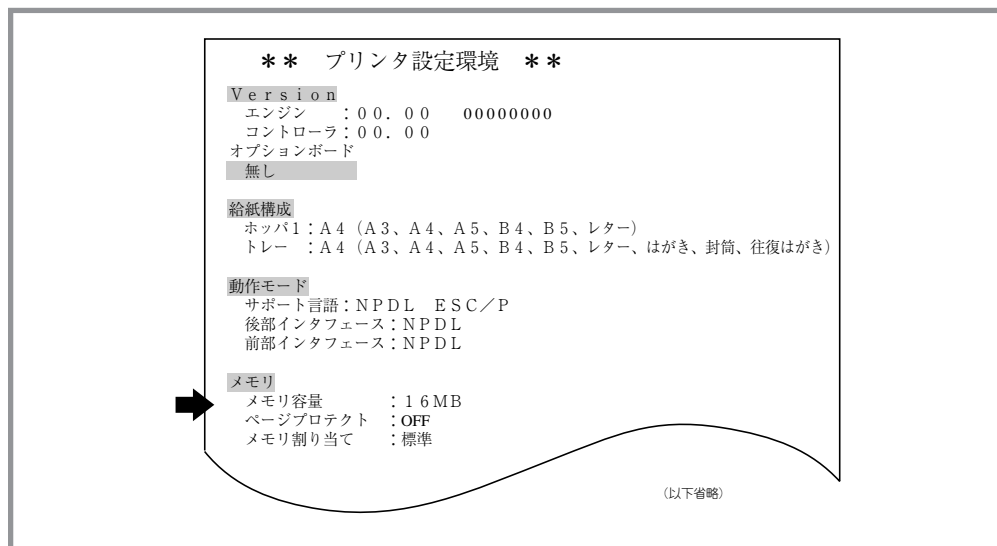
テストメニュー
←ステータスインサツジッコウ→

- 5 さらに▶スイッチを1回押します。

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

テストインサツチュウ

次のように印刷されていれば、増設RAMサブボードは正しく取り付けられたことになります。

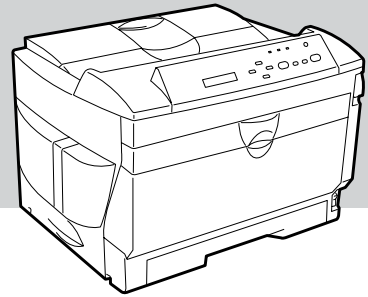


8MBを増設した場合

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設RAMサブボードの取り付けは完了です。

3

技術情報



仕様

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式： レーザダイオード+ポリゴンスキャナ 現像方式： 1成分乾式
印刷速度*	約20枚/分(A4用紙横置き、ホッパ給紙片面印刷時) * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピュータからのデータの送り方などによって異なります。
ウォームアップの待ち時間	電源投入時： 約60秒(20℃)
ファーストプリントタイム	片面印刷時 A3サイズ 約13.5秒(ホッパ給紙) B4サイズ 約13.0秒(ホッパ給紙) A4サイズ 約11.5秒(A4用紙横置き、ホッパ給紙) 両面印刷時 A3サイズ 約23.7秒(ホッパ給紙) B4サイズ 約22.0秒(ホッパ給紙) A4サイズ 約19.5秒(A4用紙横置き、ホッパ給紙)
用紙容量	ホッパ：250枚(連量55kgの用紙の場合、標準ホッパ1段につき) トレイ：100枚(連量55kgの用紙の場合)
スタック容量	250枚(A4用紙、連量55kg相当)
ドット間隔	1/600インチ×1/600インチまたは1/400インチ×1/400インチ
CPU	RV4640
RAM	標準8MByte、最大40MByte(オプション増設時)

オプションROMソケット	1ソケット
インタフェース	セントロニクス仕様に準拠(前面、背面に1つずつ装備)
データ形式	NPD Level 2(201PLエミュレーション含む)、ESC/PEエミュレーション
環境	動作温度： 10～32.5℃ 動作湿度： 20～80%RH(結露しないこと) 保管温度： 0～32.5℃ 保管湿度： 10～80%RH(結露しないこと) 塵埃量： 一般事務室程度 ガス成分： 一般事務室程度 気圧： 1.013×10 ⁵ ～ 0.7524×10 ⁵ Pa(海拔0～2500m)
騒音	動作時： 53dBA 待機時： 38dBA
電源	電圧： 100V±10% 周波数： 50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時 最大：750W 平均：450W 節電モード時：30W以下
寸法	幅520mm×奥行き566mm×高さ373mm(カセット伸長時) 幅520mm×奥行き495mm×高さ373mm(カセット縮小時)
重量	約19kg(消耗品、オプション含まない)
製品寿命	印刷枚数30万枚または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命	EPカートリッジ(本体添付)： 約6,000枚(印刷枚数) (ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)
フォント	アウトラインフォント 2種類(明朝体、ゴシック体)
対応OS	<ul style="list-style-type: none"> ● MS-DOS ver 3.3以上、Microsoft Windows 95(日本語版)、Microsoft Windows 3.1(日本語版)、Microsoft Windows NT 3.5(日本語版)、Microsoft Windows NT 3.51(日本語版)、Microsoft Windows NT4.0(日本語版) ● PC-PTOS Ver. 1.0以上 ● DOS/V(MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上) ● Macintosh 漢字Talk 7.1.x、7.5、7.5.1、7.5.2、7.5.3、7.5.5、7.6(PC-PR-L01使用時)、ただし、漢字Talk 7.5.xのQuickDrawGXには未対応

用紙の規格と印刷範囲

用紙の規格

■ 普通紙(乾式PPC用紙)

寸法	A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×280mm)
連量	ホッパ給紙：55～70kg トレー給紙：55～110kg (連量とは、用紙788×1091mmのサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。)
坪量	ホッパ給紙：64～81.4g/m ² トレー給紙：64～128g/m ²
表面電気抵抗	$1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

■ はがき

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、連量のものを使用してください。
ただし、往復はがきは折り目が無いものを使用してください。

寸法	官製はがき(148×100mm)	官製往復はがき(148×200mm)
連量	135kg相当	
坪量	157g/m ² 相当	

■ OHPフィルム

寸法	A4判(210×297mm)
厚さ	0.1mm±0.025mm(100mm±25mm)

乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。

■ ラベル紙

寸法	A4判(210×297mm)、B4判(257×364mm)
----	-------------------------------

乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。

■ 封筒

洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ(株)製)のものに限ります。

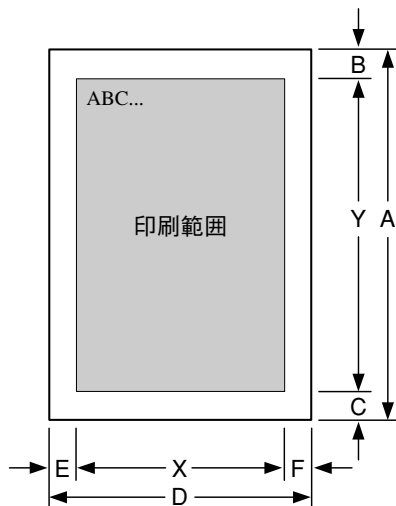
寸法	105×235mm
----	-----------

印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンタ設定により多少異なる場合があります。

● ポートレート

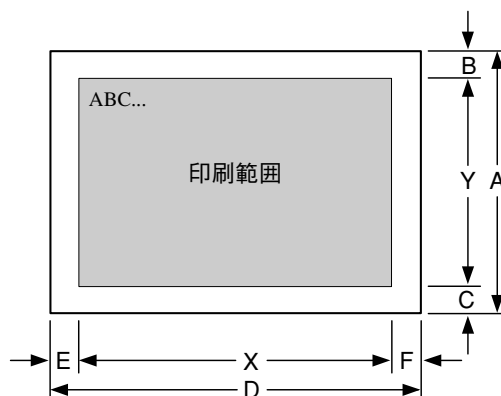


記号	意味	単位	寸法									
			A3	A4	A5	B4	B5	レター	はがき	往復はがき	封筒	
A	用紙の長さ	mm	420	297	210	364	257	280	148	148	235	
B	用紙の上端から印刷範囲までの距離 (上端印刷不可領域)	mm	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
C	用紙の下端から印刷範囲までの距離 (下端印刷不可領域)	mm	6	5	4	6	6	6	3	5	5	
D	用紙の幅	mm	297	210	148	257	182	216	100	200	105	
E	用紙の左端から印刷範囲までの距離 (左端印刷不可領域)	mm	5	8	8	8	8	8	8	5	5	
F	用紙の右端から印刷範囲までの距離 (右端印刷不可領域)	mm	5	4	4	8	4	5	6	5	5	
X	横方向の印刷範囲		ドット	2712	1872	1284	2280	1608	1920	816	1796	898
	印刷可能文字数	パイカ	文字	113	78	53	95	67	80	34	70	37
		エリート		135	93	64	114	80	96	40	84	44
		コンデンス		193	133	91	162	114	137	58	120	64
		7ポイント*1		113	78	53	95	67	80	34	70	37
		10.5ポイント*2		75	52	35	63	44	53	22	46	24
12ポイント	67	46	32	57	40	48	20	42	22			
Y	縦方向の印刷範囲		ドット	3864	2712	1896	3336	2328	2544	1320	1300	2126
	印刷可能行数	6LPI	行	96	67	47	83	58	63	33	32	53
		8LPI		128	90	63	111	77	84	44	43	70

*1 7ポイントは正確には7.2ポイントです。

*2 10.5ポイントは正確には10.8ポイントです。

● ランドスケープ

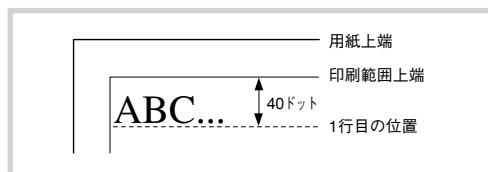


記号	意味	単位	寸法									
			A3	A4	A5	B4	B5	㍉-	はがき	往復はがき	封筒	
A	用紙の長さ	mm	297	210	148	257	182	216	100	200	105	
B	用紙の上端から印刷範囲までの距離 (上端印刷不可領域)	mm	5	4	4	8	4	5	6	5	5	
C	用紙の下端から印刷範囲までの距離 (下端印刷不可領域)	mm	5	8	8	8	8	8	8	5	5	
D	用紙の幅	mm	420	297	210	364	257	280	148	148	235	
E	用紙の左端から印刷範囲までの距離 (左端印刷不可領域)	mm	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
F	用紙の右端から印刷範囲までの距離 (右端印刷不可領域)	mm	6	5	4	14	6	6	6	5	5	
X	横方向の印刷範囲		ドット	3864	2712	1896	3264	2328	2544	1320	1308	2126
	印刷可能文字数	パイカ	文字	161	113	79	136	97	106	54	108	88
		エリート		193	135	94	163	116	127	64	130	106
		コンデンス		276	193	135	233	166	181	92	186	151
		7 [※] ポイント1		161	113	79	136	97	106	54	104	88
		10.5 [※] ポイント2		107	75	52	90	64	70	36	72	59
	12 [※] ポイント	96	67	47	81	58	63	32	64	53		
Y	縦方向の印刷範囲		ドット	2712	1872	1284	2280	1608	1920	816	1796	898
	印刷可能行数	6LPI	行	67	46	32	57	40	48	20	21	22
		8LPI		90	62	42	76	53	64	27	28	29

*1 7ポイントは正確には7.2ポイントです。
 *2 10.5ポイントは正確には10.8ポイントです。

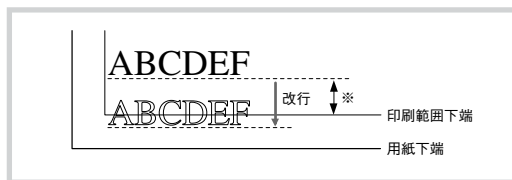
補足説明

- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンタ個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて240DPIで規定されています。400DPIでの印刷可能ドット数は240DPIのドット数を5/3倍にした値になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は240DPI相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。



- ◇ 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39) (240DPI)を指定したのと同じ位置に印刷されます。
- ◇ 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行柵モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があります、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。



- ◇ 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、*の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。
- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。計算に用いる値は次のとおりです。

種 別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ボ(1/10インチ)	24ドット
		10.5ボ(3/20インチ)	36ドット
12ボ(1/6インチ)		40ドット	
行数	6LPI(1/6インチ)	40ドット	
	8LPI(1/8インチ)	30ドット	

- ◇ 値はすべて240DPIでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240DPIで行います。
- ◇ 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
- ◇ 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンタでサポートしている定形用紙(A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒)以外の大きさの用紙のことです。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンタ設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。

プリンタの設定について

定形外用紙に印刷する場合、フロントトレイから給紙させます。プリンタは定形用紙を想定し、印刷位置、印刷範囲の制御を行います。操作パネルのトレースイッチによって印刷させる定形外用紙の用紙サイズに近似した用紙サイズを設定する必要があります。

印刷範囲が定形外用紙内に収まっていないで印刷を行うと装置内を汚すなど、思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

定形外用紙はホッパからは給紙できません。

余白について

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬトラブルの原因となります。

また、印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

印刷位置について

次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は主に行柝モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

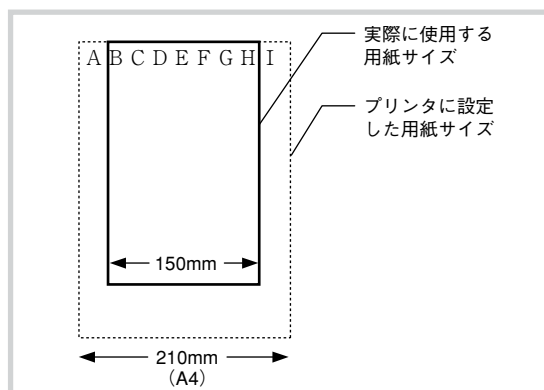
■ ポートレートの柝方向(プリンタに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることで、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。必要なスペース量は次のように算出してください。

$$\text{必要なスペース} = \frac{A-B}{2}$$

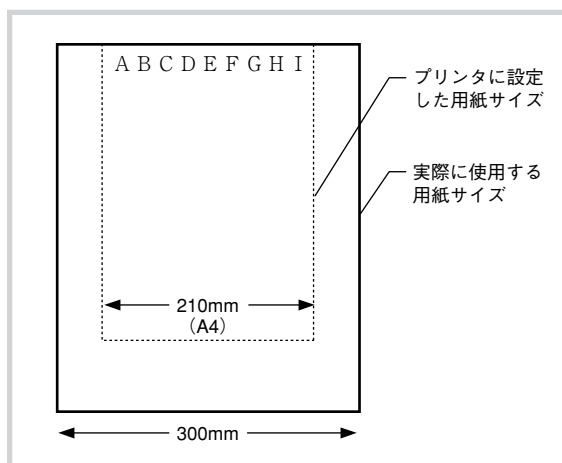
A: プリンタに設定されている用紙の幅
B: 実際に使用する用紙の幅



■ ポートレートの柝方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

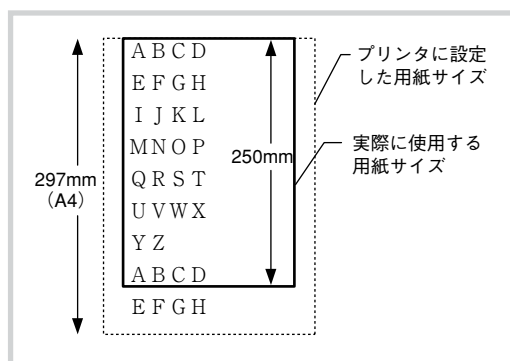
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンタに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



■ ポートレートの行方向(プリンタに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

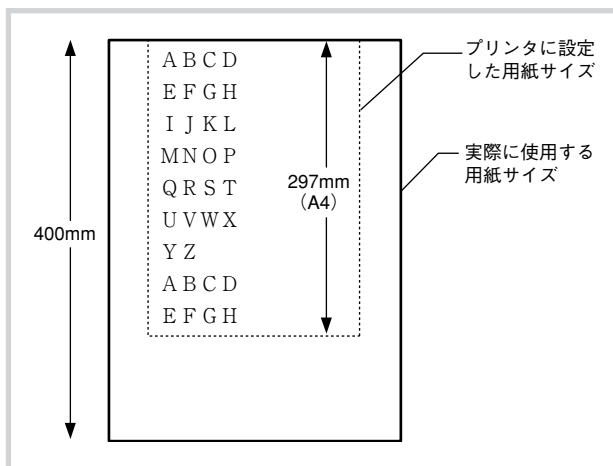
このような場合には、1ページあたりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。



■ ポートレートの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンタに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



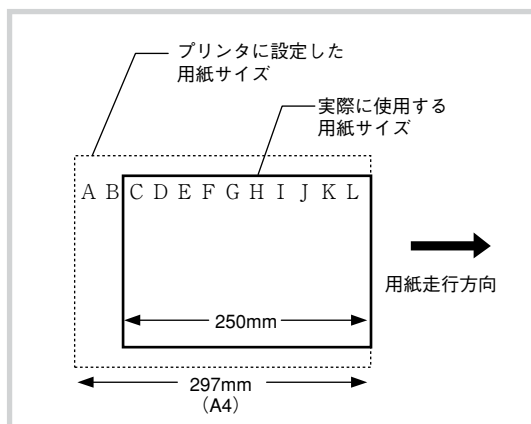
■ ランドスケープの桁方向(プリンタに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端(行の先頭)の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には、各行の先頭に適量なスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース=A-B

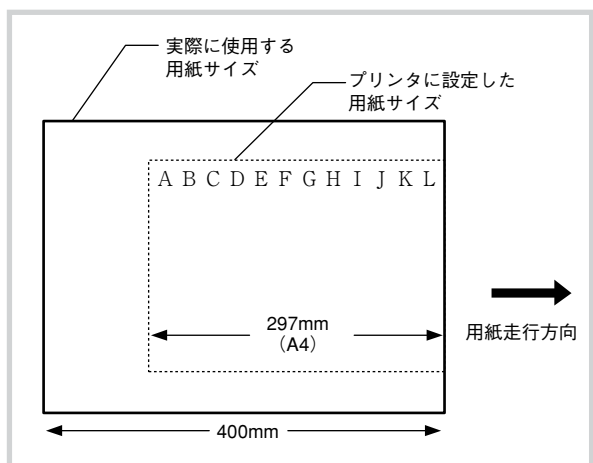
- A：プリンタに設定されている用紙の幅
- B：実際に使用する用紙の幅



■ ランドスケープの桁方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンタに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



■ ランドスケープの行方向(プリンタに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

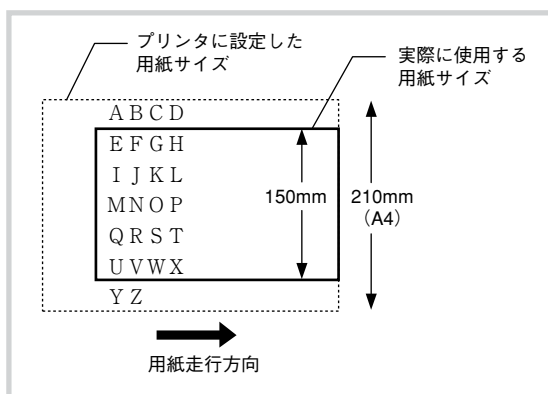
例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には各ページの先頭に適当な量の余白(改行)をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。必要な余白の量は次のように算出してください。

$$\text{必要なスペース} = \frac{C-D}{2}$$

C: プリンタに設定されている用紙の幅
D: 実際に使用する用紙の幅

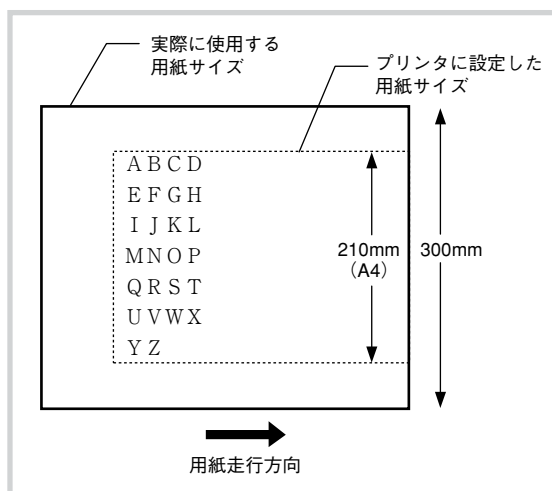
また、1ページあたりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。



■ ランドスケープの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンタに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



80桁モード

本プリンタの印刷可能桁数は78桁(A4用紙、パイカモード時)です。したがって80桁のシリアルプリンタでバッファフル印刷を利用して改行を行うソフトウェアを本プリンタで使用した場合、印刷位置が異なることとなります。

このため、本プリンタではバッファフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます(A4ポートレートの場合のみ可能です)。設定は「A4ポートレートケタスウ」メニューまたはリモートパネルで行います。(ユーザーズマニュアル[2/3]参照)

NPDLの初期状態

内部設定

次の条件で、プリンタの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
 - 未印刷データをすべて消します。
- ソフトウェアリセット(ESC c1)を実行したとき
 - 印刷フォーマット、ホッパ指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT・PRIME信号を受信したとき
 - VFU印刷フォーマット、ホッパ指定、およびセレクト/ディセレクトは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- パラメータリセット(ESC c8)を実行したとき
 - VFU、印刷フォーマット、ホッパ指定、セレクト/ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ (初期化) の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う (工場設定000)				
ライトマージン幅		A3: 113 A4: 078 (80桁モード時 080) A5: 053 B4: 095 B5: 067 レター: 080 はがき: 034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3: 96行 A4: 67行 A5: 47行 B4: 81行 B5: 58行 レター: 63行 はがき: 33行				変化せず
	ボトム領域	なし				変化せず
	VTセット (CH2)	A3:第7, 13, 19, 25, 37, 43, 49, 55, 61, 67, 73, 79, 85, 91行目 A4:第7, 13, 19, 25, 31, 37, 43, 49, 55, 61, 67行目 A5:第7, 13, 19, 25, 31, 37, 43行目 B4:第7, 13, 19, 25, 37, 43, 49, 55, 61, 67, 73, 79行目 B5:第7, 13, 19, 25, 31, 37, 43, 49, 55行目 レター:第7, 13, 19, 25, 31, 37, 43, 49, 55, 61行目 はがき:第7, 13, 19, 25, 31行目				変化せず
	VTセット (CH3~CH6)	クリア				変化せず
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト/ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファ		クリア			クリアせず	
ページバッファ		クリア			クリアせず	
未印刷データ		—	クリア		印刷実行	
動作モード		メニュー設定に従う (エミュレーション/ページプリンタ)				
印刷方式		バイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態 (8ビットコード)				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う (標準/イタリック/クーリエ/ゴシック)				
漢字書体		メニュー設定に従う (内蔵明朝/内蔵ゴシック)				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				
倍率指定		縦横とも解除				
修飾印刷		解除				

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
アンダライン	指定	解除				
	線種	実線、一重線				
	線幅	2ドット				
網かけ	指定	解除				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
白黒反転		解除				
固定ドットスペース		左右とも0ドット				
縦方向文字位置オフセット		0ドット				
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
2バイト文字登録		クリア（未登録状態）				
ドット切り替え		メニュー設定に従う（ネイティブモード/コピーモード）				
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート			変化せず	
	縮小モード	解除			変化せず	
コピー枚数	コード (FSx)	1枚			メニュー設定に従う	
	操作パネル	1枚			変化せず	
座標指定単位		1/240インチ				
描画座標		(X, Y) = (0, 0)				
全点アドレス印刷モード		解除				
フォーム	登録	クリア				クリアせず
	参照	解除				変化せず
図形印刷モード		解除				
グラフ描画モード		絶対描画モード				
プリンタ単位		1/240インチ				
線分	線種	実線				
	線幅	1ドット幅				
	線長	P ₁ P ₂ の対角線距離の4%				
	線端タイプ	断ち切り型				
	接続タイプ	マイタ接続				
	選択パターン	黒べた				
	登録パターン	クリア				クリアせず
ペン	座標	(X, Y) = (0, 0)				
	上下位置	アップ状態				
塗り潰しモード		解除				
塗り潰し	選択パターン	パターン番号0				
	登録パターン	クリア（未登録状態）				クリアせず
スケーリングポイント	P ₁	(X, Y) = (0, 0)				
	P ₂	各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置				
スケーリング		解除				
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大				
座標系反転		解除				
座標系回転		0度				
論理描画		OR				
パス構築モード		解除				
パスデータ		廃棄				
ホッパ指定		メニュー設定に従う (ホッパ1/ホッパ2/ホッパ3)			変化せず	
ホッパ/トレイ給紙		ホッパ給紙			変化せず	
セントロ切り替え		準備（前後Ready）			以前の状態を継続	
両面印刷		片面印刷			変化せず	

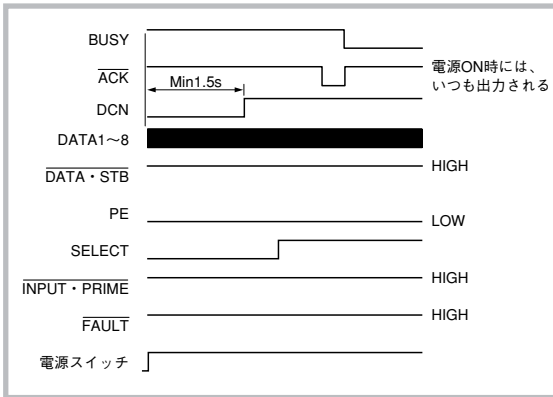
インタフェース

インタフェース信号の機能

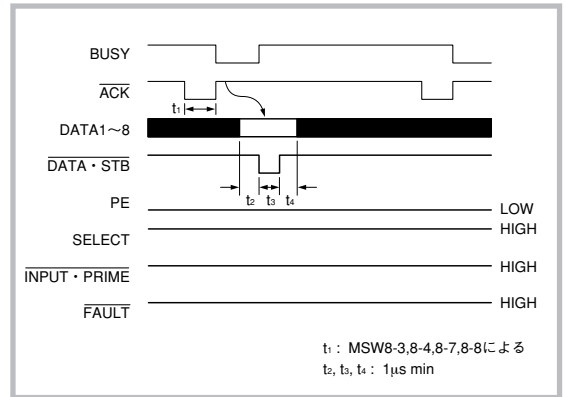
ピン番号	信号名	略称	プリンタ ← コンピュータ	機能
1	データストロブ	DATA・STB	←	DATA 1~8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1~8を読み込む。パルス幅は最小1msとする。 
2	データ1	DATA 1	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁(LSB)、DATA 8が最上位桁(MSB)である。上図に示すDATA・STBの前後1msの範囲でDATA 1~8は確定していること。
3	データ2	DATA 2	←	
4	データ3	DATA 3	←	
5	データ4	DATA 4	←	
6	データ5	DATA 5	←	
7	データ6	DATA 6	←	
8	データ7	DATA 7	←	
9	データ8	DATA 8	←	
10	アクノリッジ	ACK	→	受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA・STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットブライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1msLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジー	BUSY	→	プリンタがデータ受信不可能(BUSY中)状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 <ul style="list-style-type: none"> ● SELECT信号がLOWのとき。 ● FAULT信号がLOWのとき。 ● INPUT・PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT・PRIME信号がHIGHになるまでの間。 ● データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間。 ● 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 [補足] 本プリンタは印刷処理用の1ページ分バッファのほかに、受信用のバッファを持ち、データを受信するとまず受信バッファに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンタの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	→	用紙がなくなったときHIGHになる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 設定されたサイズの用紙がホッパに存在せず、縮小もできない場合 ● 用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	→	プリンタがセレクト中(HIGH)かディセレクト中(LOW)かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 [セレクトになる条件] <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ONしたとき ● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリスイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 [ディセレクトになる条件] <ul style="list-style-type: none"> ● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリスイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 ● PE=1のとき。 ● FAULT=0のとき。
14~15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネク	DCN	→	プリンタの電源がONになっていることを表す。
19~30	TWISTED PAIR GND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットブライム	INPUT・PRIME	←	この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。パルス幅は15ms以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT・PRIMEは有効。INPUT・PRIME信号による初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 <ul style="list-style-type: none"> ● SELECT=0のとき。 ● プリンタがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34~36	—	—	—	将来の拡張用

タイムチャート

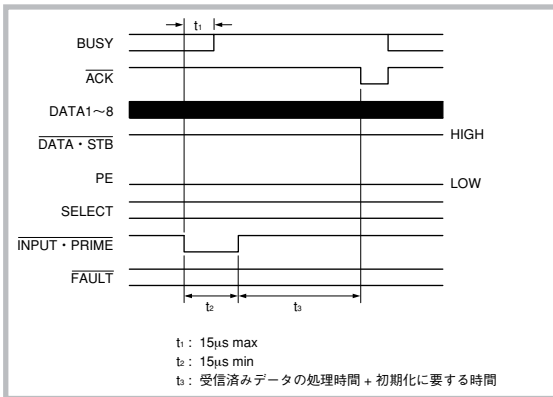
電源ON時



データ受信時

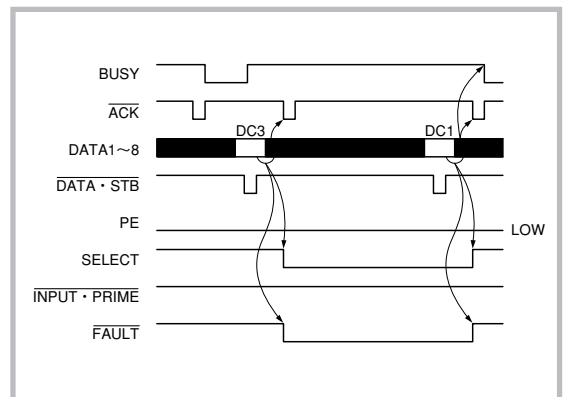


INPUT·PRIME受信時



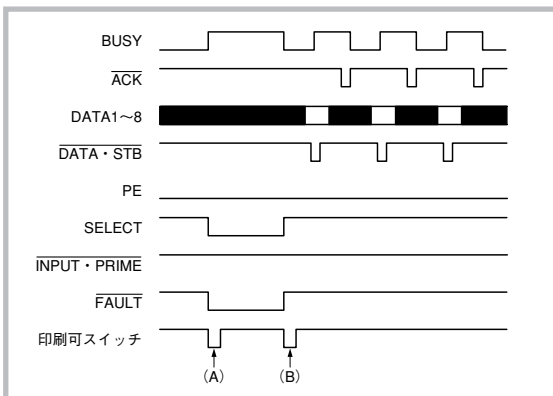
- ◇ 選択されていないインタフェースにINPUT·PRIME信号を入れた場合、INPUT·PRIME信号は無効となり、上記信号は反応しない。

DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え



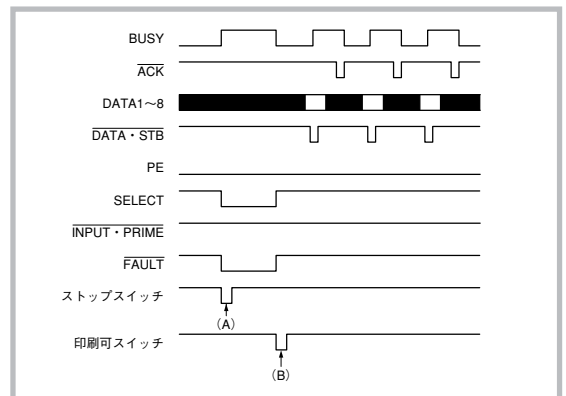
- ◇ DC1、DC3の処理は受信バッファから読み出された後に実行される。

操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え



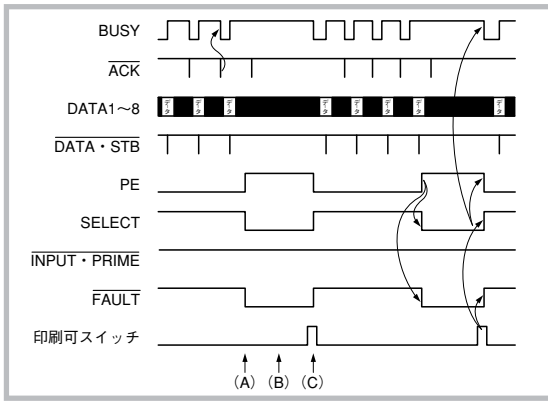
- (A) セレクト状態で印刷可スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。
- (B) ディセレクト状態で印刷可スイッチを押すとセレクト状態になる。

ストップスイッチによる一時停止



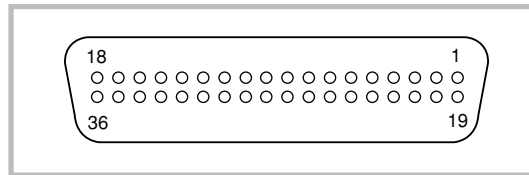
- (A) セレクト状態でストップスイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。
- (B) ディセレクト状態で印刷可スイッチを押すとセレクト状態になる。

用紙なし発生時



- (A) 印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。
- (B) 用紙をセットしても状態は変化しない。
- (C) 印刷可スイッチを押すことによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

コネクタピン配置



* 各ピンの信号については56ページの説明をご覧ください。
これらのピンの端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA 1~8 (背面の インタフェース)	
DATA 1~8 (前面の インタフェース)	
$\overline{\text{DATA}}\cdot\text{STB}$ $\overline{\text{INPUT}}\cdot\text{PRIME}$	

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ FAULT BUSY PE SELECT DCN	

制御コード一覧

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。

E：201PLエミュレーションモード

P：ページプリンタ (NPD L) モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか(○)使用できないか(×)を示します。

制御コードの詳細については、別売の「日本語ページプリンタ言語NPD L (Level 2) リファレンスマニュアル」をご覧ください。

テキストモード

コード区分	機能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホッパ選択	FS f c ₁ C ₂ C ₃ .	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c ₁ C ₂ C ₃ .	○	○
	印刷方向の設定および縮小/拡大モード設定	FS f c ₁ C ₂ C ₃ C ₄ C ₅ .	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■ 行桁制御印刷コード	ドットスペース (1~8ドットスペース)	ESC <n>	○	○
	ドットスペース (9~25ドットスペース)	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダライン/オーバラインの指定	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS 04 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■ ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×

テキストモード(続き)

コード区分	機能	制御コード	E	P
■その他	キャラクターリポート	ESC R	○	○
面制御コード	座標指定単位の設定 描画座標の指定 座標のコピー 罫線の描画 領域指定の網かけ 網かけパターンの登録 領域指定のイメージ印刷 全点アドレス印刷モードの設定 全点アドレス印刷モードの解除 フォーム登録の開始/参照 フォーム登録モードの解除	FS < FS e FS e FS l FS s FS r FS i FS a FS R FS u FS U	× × × × × × × × × ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
その他	セレクト状態の設定 ディセレクト状態の設定 201PLエミュレーションモードの設定 ページプリンタモードの設定 ソフトウェアリセット パラメータリセット 図形モードの設定 図形モードの解除 描画論理の指定 クリッピング領域の設定	DC1 DC3 FS d 160. FS d 240. ESC c1 ESC c8 FS Y FS Z FS " FS #	○ ○ ○ ○ ○ ○ × × × ×	× × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

図形モード

図形モードに関する制御コードはすべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定 座標系の設定 ウィンドウ領域の指定 回転角の設定 座標系の反転 プリンタ単位の設定	IP SC IW RO RC SU	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
線に関する設定	線種の設定 線幅の設定 線端タイプの設定 線接続タイプの設定 線タイプの登録 線パターンの選択	LT LW LC LJ RL LP	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定 塗りつぶしモードの解除 塗りつぶしパターンの選択 塗りつぶしパターンの登録 グレイレベルパターンの設定 描画論理の設定	XX1 XX0 PP RP SG PM	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
図形の描画	ペンを上げる ペンを下げる 直線の描画(絶対描画モード) 直線の描画(相対描画モード) ペンの移動(絶対描画モード) ペンの移動(相対描画モード) 自由曲線の移動(絶対描画モード) 自由曲線の移動(相対描画モード) 扇形の描画(絶対描画モード) 扇形の描画(相対描画モード) 円の描画 円弧の描画(絶対描画モード) 円弧の描画(相対描画モード) 円弧の描画(絶対座標) 円弧の描画(相対座標)	PU PD PA PR MA MR BA BR FA FR CI AA AR AX AY	× × × × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

図形モード(続き)

コード区分	機能	制御コード	E	P	
図形の描画(続き)	円弧の描画	AT	×	○	
	楕円の描画	EL	×	○	
	楕円弧の描画	ED	×	○	
	楕円弧の描画(逆方向)	EN	×	○	
	枠無し四角形の塗りつぶし(絶対位置指定)	RA	×	○	
	枠無し四角形の塗りつぶし(相対位置指定)	RR	×	○	
	枠あり四角形の塗りつぶし(絶対位置指定)	EA	×	○	
	枠あり四角形の塗りつぶし(相対位置指定)	ER	×	○	
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○	
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○	
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○	
	パス構築モードの開始	NP	×	○	
	パスの閉鎖	CP	×	○	
	パス構築モードの終了	EP	×	○	
	ストロークの描画	ST	×	○	
	フィルの描画(非零則)	FL	×	○	
	フィルの描画(偶奇則)	EF	×	○	
	その他	イニシャライズ	IN	×	○
		初期設定	DF	×	○
図形モード設定		FS Y	×	○	
図形モード解除		FS Z	×	○	

ESC/Pエミュレーションサポートコマンド

コマンド	機能	コマンド	機能
ESC C	行単位ページ長設定	ESC -	アンダーライン指定、解除
ESC C 0	インチ単位ページ長設定	SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC N	ミシン目スキップ設定	DC 4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC O	ミシン目スキップ解除	ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC Q	右マージン設定	ESC E	強調指定
ESC l	左マージン設定	ESC F	強調解除
ESC 0	1/8インチ改行量設定	ESC G	二重印字指定
ESC 2	1/6インチ改行量設定	ESC H	二重印字解除
ESC 3	n/180インチ改行量設定	ESC !	一括指定
ESC +	n/360インチ改行量設定	ESC 4	イタリック指定
ESC B	垂直タブ位置設定	ESC 5	イタリック解除
ESC D	水平タブ位置設定	ESC q	文字スタイル選択
CR	キャリッジリターン	FS J	縦書き指定
LF	改行	FS K	横書き指定
FF	改ページ	FS D	半角縦書き2文字指定
ESC J	n/180インチ順方向紙送り	FS W	4倍角指定、解除
HT	水平タブ	FS -	漢字アンダーライン指定、解除
VT	垂直タブ	FS !	漢字一括指定
ESC \$	絶対位置指定	FS &	漢字モード指定
ESC ¥	相対位置指定	FS .	漢字モード解除
ESC M	12 CPI指定	FS SI	半角文字指定
ESC P	10 CPI指定	FS DC2	半角文字指定解除
ESC g	15 CPI指定	FS r	1/4角文字指定
ESC p	プロポーション指定、解除	FS k	漢字書体選択
ESC R	国際文字選択	FS 2	外字定義
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定	FS S	全角文字スペース量設定
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除	FS T	半角文字スペース量設定
ESC k	書体選択	ESC *	ビットイメージ選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除	ESC *	ビットイメージリピート
ESC &	ダウンロード文字定義	ESC @	初期化
ESC :	文字セットコピー	ESC EM	カットシートフィーダ制御
ESC SP	文字間スペース量設定	FS f c ₁ c ₂ c ₃ .	印刷方向の設定およびホッパ選択
ESC w	縦倍拡大指定、解除	FS f c ₁ c ₂ c ₃ .	印刷方向の設定および用紙サイズ選択
SI	縮小指定	FS f c ₁ c ₂ c ₃ c ₄ c ₅ .	印刷方向の設定および縮小/拡大モード選択
DC2	縮小解除		

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL (Level2)リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

コード区分	機能	制御コード	E	P
■ 漢字コード表設定	漢字コード表の設定	FS 05 F2	○	○
■ 文字スタイル制御コード	1バイト文字サイズの設定	FS 07 S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS 07 S2	×	○
	1バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S1	×	○
	2バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S2	×	○
	文字明度の指定	FS \$	×	○
■ ページ制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定	FS D	○	×
	印刷方向の設定および縮小/拡大モード設定	FS f c ₁ c ₂ c ₃ c ₄ c ₅ .	○	○
	縮小印字での設定	FS 05f	○	×
	両面印刷設定	FS '	○	○
■ 面制御コード	フォーム登録の開始/参照	FS u	○	○
■ 図形の描画	自由曲線の描画(絶対座標モード)	BA	×	○
	自由曲線の描画(相対座標モード)	BR	×	○
	楕円、楕円弧の描画	EL, ED, EN	×	○
■ 行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
■ 塗りつぶしに関する設定	グレイレベルパターンの設定	SG	×	○
■ バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS 'p ₁ p ₂ p ₃ p ₄ p ₅ p ₆ p ₇ d ₁ d ₂ d ₃ d ₄ ...	○	○
■ 文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS 06 F1 -004	×	○

E: 201PLエミュレーションモード P: ページプリンタ (NPDL) モード

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンタは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピュータから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定

FS 05F

形式

FS 0 5 F 2 - C₁ C₂

- C₁ C₂で漢字コード表を設定します。

C ₁ C ₂	漢字コード表
0 0	JIS 1978年版 (JIS C6226-1978)
0 1	JIS 1983年版 (JIS X0208-1983)
0 2	JIS 1990年版 (JIS X0208-1990)

- 本プリンタで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例

JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h46);
      CHR$(&h32);CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h31);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"05F2-01";
```


文字スタイル制御コード

1バイト文字サイズの設定

FS 07S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 0 7 S 1 - C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₁ C₂ C₃ C₄の有効範囲は0001~9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h31);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);  
または  
LPRINT CHR$(28);"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定

FS 07S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 0 7 S 2 - C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₁ C₂ C₃ C₄の有効範囲は0001~9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h32);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);  
または  
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 1 2 S 1 - C₁ C₂ C₃ C₄ - C₅ C₆ C₇ C₈

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₅ C₆ C₇ C₈で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001~9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 1 2 S 2 - C₁ C₂ C₃ C₄ - C₅ C₆ C₇ C₈

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₅ C₆ C₇ C₈で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001~9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S2-0500-0200";
```

テキストモードでの文字明度を指定します。

形式

FS \$ P1.

- P1でテキストモードでの文字明度を指定します。
- P1の範囲は0～100が有効です。
- P1は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。(P1=0で黒、P1=100で白)
- P1省略時およびP1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

FS \$は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0～100のパラメータを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンタでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

記述例

テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h24);"50.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"50.";
```

漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定

FS D

全角漢字の文字幅を2/15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形式

FS D

記述例

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h44);
```

または

```
LPRINT CHR$(28); "D";
```

ページ制御コード

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定

FS f

プリンタの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形式

FS f C₁ C₂ C₃ C₄ C₅ .

- c₁は印刷方向を設定します。

c ₁	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- c₂～c₅は縮小／拡大モードを設定します。本コマンドは従来縮小機能のみでしたが、本プリンタでは拡大機能が追加されました。パラメータの設定方法に関しては次ページの表をご覧ください。

記述例

印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h66);"PA4A3.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"f";"PA4A3.";
```

拡大／縮小モードの設定

C ₂	C ₃	C ₄	C ₅	機能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4 x 2→A4
U	P	B	5	B5 x 2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

形式

```
FS 0 5 f c1 c2 c3 c4
```

- c₁、c₂、c₃ で縮小率を設定します。
組み合わせは次の中から選択します。

c ₁ 、c ₂ 、c ₃	設定内容
1 0 0	縮小印字解除(原寸)
0 8 0	4/5縮小印字
0 6 7	2/3縮小印字

- c₄ で縮小基準位置を設定します。
設定は次の通りです。

c ₄	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印字しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印字したいようなときに役立つ機能です。
- プリンタがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- はがきモード中、80桁モード中は本コマンドは無効です。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例

縮小率を4/5、左端基準で印字するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h30); CHR$(&h35);  
CHR$(&h66); "080L"
```

または

```
LPRINT CHR$(28); "05f"; "080L"
```

両面印刷を設定します。

形式

FS' C₁, C₂, P₁, P₂.

- C₁ で印刷モードを設定します。

C ₁	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- C₁ で片面印刷を指定した場合は、C₂ 以降のパラメータは無効になります。
- C₂ で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

C ₂	印刷面
F	表面
B	裏面

- C₂ を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- P₁ で綴じ代を付加する位置を設定します。

P ₂	綴じ代位置
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置1
4	短辺綴じ位置2

- P₂ で綴じ代として追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、0 ≤ P₂ ≤ 20です。
- P₁、P₂を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例

印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h27); "B,B,1,10.;"
```

または

```
LPRINT CHR$(28); "1"; "B,B,1,10.;"
```

面制御コード

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形式 $(FS)(u)(c_1)(,)(P1)(,)(c_2)(.)$

- c_1 で登録か参照かを設定します。

c_1	機能
1	フォーム登録モードを設定(フォーム登録を開始)
2	フォーム参照モードを設定

- P_1 でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1~100です。
- c_2 は $c_1=1$ (フォーム登録モード) のときは必ず省略してください。 $c_1=2$ (フォーム参照モード) のときは、 c_2 でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画(参照)します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

2200Xでは100面までの登録が可能です。実際にはメモリの容量に依存しますが、オプションの増設RAMを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能になりました。

記述例

フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h75);CHR$(&h31);CHR$(&h2C);"2";CHR$(&h2E);  
または  
LPRINT CHR$(28);"u1,2.";
```

図形の描画コード

自由曲線の描画(絶対座標モード)

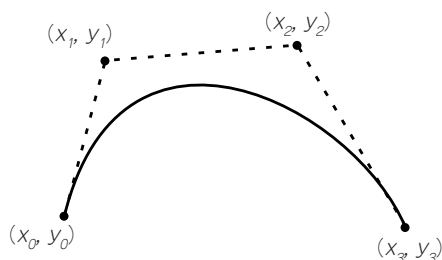
BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形式

B A $x_1, y_1, x_2, y_2, x_3, y_3$. . . x_n, y_n ;

- 現在の座標を (x_0, y_0) として (x_0, y_0) 、 (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点を用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h41);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

または

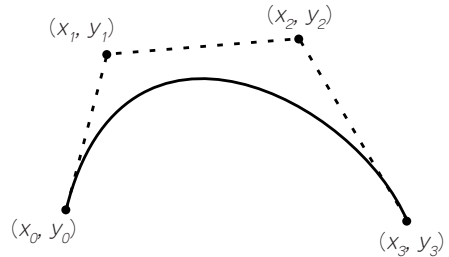
```
LPRINT CHR$(28);"BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```


曲線を相対座標モードで描画します。

形式

`BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3 . . . , Xn, Yn ;`

- 現在の座標を (x_0, y_0) として (x_0, y_0) 、 (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h52);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;"
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

楕円の描画

EL

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形式

`EL r1, r2, θ ;`

- r_1 は楕円の長軸を、 r_2 は楕円の短軸を示します。
- θ は楕円の回転角度を示します。 θ は省略した場合 0° とみなします。
- $\theta=360$ 以上を指定した場合、 360 の剰余とみなします。また θ は負の値も設定可能です。たとえば -1° は 359° とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1, r_2 は線幅の $1/2$ 以下でなければなりません。
- r_1, r_2 は下記の値以下でなければなりません。
400dpiで印刷する場合： $32767-400=32367$ (約2055mm)
600dpiで印刷する場合： $32767-600=32167$ (約1362mm)

記述例

長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

LPRINT CHR\$(&h45);CHR\$(&h4C);"1000, 500, 30:";

または

LPRINT CHR\$(28);"EL1000, 500, 30:";

楕円弧の描画

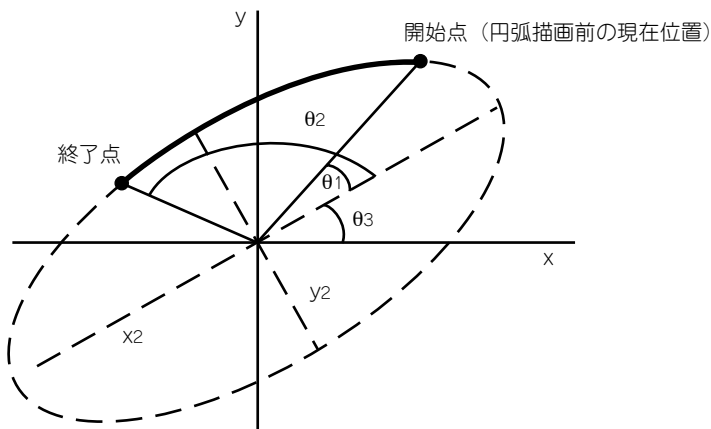
ED, EN

楕円弧を描きます(直線がはじめに引かれる場合があります)。

形式

(E D x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;)

(E N x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;)



- (x_1, y_1) は楕円の中心座標を示します。
- x_2 と y_2 はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1 と θ_2 はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0~359(度単位)が有効です。
 θ_2 が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。 θ_1 は省略できません。
- θ_3 は楕円弧の回転角度を示します。 θ_3 で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。 θ_3 が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド(RC、RO)の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例

LPRINT "ED";"X1, Y1, X2, Y2, θ_1 , θ_2 , θ_3 :";

従来は楕円を回転(傾斜)させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定

FS p

2バイトコード文字の文字幅(印刷ピッチ)を設定します。

形式

FS p 2 , p₁ , p₂ .

- p₁/p₂で文字幅を設定します。
- p₁は文字幅の分子、p₂は文字幅の分母を表します。
- p₂を240に設定したとき、p₁は1~240の値が有効となります。
- p₂を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p ₁	p ₂	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/5インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみが可能でしたが、本プリンタでは1/240~240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例

2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ(30/240)に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h70);"2,30/240.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"p";"2,30/240.";
```

塗りつぶしに関する設定

グレイレベルパターンの設定

SG

フィル描画 (FL, EL) や閉領域塗りつぶし描画 (PI) で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

形式

SG n_1 . n_2 ;

- n_1, n_2 は明度を示します。

パラメータ	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0~100
n_2	線分描画で使用	0~100

- n_1, n_2 の設定範囲は0 (黒ベタ) から100 (白) までです。(初期値は0です)
- n_1, n_2 とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は
 - ① 初期化動作 (電源ON、リセット動作など)
 - ② イニシャライズコマンド (IN) 実行
 - ③ 初期化を伴うコマンド (RC, SU, DF) の実行
 - ④ 塗りつぶしパターン選択 (PP) の実行まで有効です。
- 塗りつぶしパターン選択コマンド (PP) が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし (PI) の使用は避けること。
- グレイの実現レベルはプリンタ機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45° です。
- パラメータを省略したとき、いずれか一方でもパラメータを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメータ値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第1位を四捨五入した値です。

パターン番号 = パラメータ × 63/100

(例) パラメータで70を指定するとき
 $70 \times 63/100 = 44.1$
選択されるパターンはパターン番号44となります。

SGは形式、パラメータの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンタでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

記述例

面分描画での明度を50、線分描画での明度を0 (黒) に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h53);CHR$(&h47);"50,0";  
または  
LPRINT "SG 50,0";
```

バーコード印刷

バーコード印刷

FS 'p₁,p₂,p₃,p₄,p₅,p₆,p₇.d₁d₂d₃d₄...

形式

(FS) (') (p₁) (,) (p₂) (,) (p₃) (,) (p₄) (,) (p₅) (,) (p₆) (,) (p₇) (.) (d₁) (d₂) (d₃) (d₄) ...

- p₁はバーコードの種類を設定します。

<201PLエミュレーションモード>

p ₁	バーコードの種類
0 1	NW-7のスタート/ストップキャラクタ設定
0 2	NW-7
0 3	JAN
0 4	CODE39
0 5	INDUSTRIAL 2 OF 5
0 6	INTERLEAVED 2 OF 5

<ページプリンタモード>

p ₁	バーコードの種類
1	NW-7のスタート/ストップキャラクタ設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5

p₁の指定により、p₂~p₇、d₁~の値は変化します。

- p₂はバーコードに対するHRC(付加文字)の有無およびその位置を指定します。

p ₂	HRC
0	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける

- p₃はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>

指定範囲：2≤p₃≤4(160dpi)

<ページプリンタモード>

指定範囲：4≤p₃≤10(400dpi)、4≤p₃≤15(600dpi)

- p₄はバーコードのワイド/ナローエレメント比を指定します。

p₄=30のみ有効

- p₅はバーコード高さをドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>

0≤p₅≤999(160dpi)

p₅が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ+HRCの高さです。

<ページプリンタモード>

指定範囲：

$10 \leq p_5 \leq 1665$ (400dpi 1ドット=約0.064ミリ なるべく150~300程度の値でご使用ください)

$10 \leq p_5 \leq 2498$ (600dpi 1ドット=約0.042ミリ なるべく150~300程度の値でご使用ください)

- p_6 はデータキャラクタの長さをバイト単位で指定します。
この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0~34
3	13または8
4	0~34
5	0~34
6	0~34(偶数のみ)

- p_7 は p_3 、 p_5 の解像度を指定します。

<201PLエミュレーション>

省略してください。(160dpi)

<ページプリンタモード>

指定： $p_7=400$ (400dpi)、 $p_7=600$ (600dpi)

- d_1 、 d_2 、 d_3 、 d_4 ...はデータキャラクタまたはスタート/ストップキャラクタ($p_1=1$ のとき)です。
- グレイの実現レベルはプリンタ機種ならびに解像度に依存します。

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。

- 読み取り装置によっては、本プリンタで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大/縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2 で指定されるHRCは疑似OCR-Bフォントで印刷されます。ただし、疑似OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなる場合があります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から越えた場合にはデータを読み捨てます(オートリターンしません)。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
 - 縦横拡大指定(FS m)
 - 網かけ、反転(FS n)
 - アンダーライン/オーバーライン(ESC X)
 - 縦方向オフセット(FS t)
 - 横罫線(FS :)
 - 固定ドットスペース(FS w)

補足

バーコードの種類によって、パラメータの意味が少しずつ異なります。

■ $p_1=1$ のとき(NW-7のスタート/ストップキャラクタを指定します。)

- バーコードの印刷ではなく、バーコードの種類NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート/ストップキャラクタの設定を行います。
- スタート/ストップキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。(初期状態は“a”)
a b c d e n t * A B C D E N T
また、 $p_2\sim p_5$ および p_7 は省略されます。

記述例 スタートキャラクタを“a”、ストップキャラクタを“b”とするとき
LPRINT CHR\$(\&h1C);"1,,,,,2,.ab";

■ $p_1=2$ のとき(NW-7)

- p_3 の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印字します。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$. / : +
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印字します。

■ $p_1=3$ のとき(JAN)

- p_3 の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
- p_6 は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- JAN標準でデータキャラクタの1バイト目(フラグキャラクタ)が規定外のときは、データキャラクタも含めて読み捨てます。
- レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

■ $p_1=4$ のとき(CODE-39)

- p_3 の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクタ(“*”固定)のみ印字します。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$. / + % SP(スペース)
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印字します。

■ $p_1=5$ のとき(INDUSTRIAL 2 OF 5)

- p_3 の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印字します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印字します。

■ $p_1=6$ のとき(INTERLEAVED 2 OF 5)

- p_3 の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印字します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- 2つのデータキャラクタを1組のバーコードデータとして印刷します。
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印字します。

形式

FS06F1-004

- 1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

疑似OCR-Bフォントについて

本プリンタは疑似OCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンタの場合10CPI(12ポイント、パイカサイズ)のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大/縮小、ページの拡大/縮小を行うと印刷できません。
- 疑似OCR-Bフォントの印刷は本プリンタのNPDLMモードでのみ可能です。また疑似OCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- Windowsから疑似OCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。

- ① アプリケーションのフォント選択で「疑似OCR-Bフォント」を選択します。
このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック(斜体)、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。
- ② アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンタフォントがない場合は、本プリンタドライバの「TrueTypeフォントのプリンタフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します(詳細は**ユーザーズマニュアル[2/3]**の61、82、111ページ参照)。

なお疑似OCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。

- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印字にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れません。

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」と「×」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されているか(○)内蔵されていないか(×)を示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準/クーリエ/ゴシック/イタリック
英数字・記号 96種 (スペース、0を含む)	○
カタカナ・記号 63種	○
ひらがな 55種	○
CGグラフィック 56種	○
各国文字 15種	○

2バイト系文字

文字の種類	明朝体 アウトライン	ゴシック体 アウトライン
記号 108種 (スペースを含む)	○	○
英数字 62種	○	○
ひらがな 83種	○	○
カタカナ 86種	○	○
ギリシャ文字 48種	○	○
ロシア文字 66種	○	○
半角文字 212種 (スペースを含む)	○	○
JIS第1水準漢字 2965種	○	○
JIS第2水準漢字 3384種	○	○

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔(インチ)
1バイト系文字	バйка	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーションナル	約1/27~1/10
2バイト系文字	7ポイント*	1/10
	10.5ポイント**	約1/6.66
	12ポイント	1/6

* 正確には7.2ポイントです。

** 正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種			ドット構成 (ボディエース) ＜縦×横＞ (ドット)	文字寸法(ボディエース) ＜縦×横＞(mm)	
1バイト系文字	標準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	バイカ	56×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×A*	3.39×C*
		CGグラフィック	バイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	バイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*	1.69×C*
		CGグラフィック	バイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
		コンデンス	16×24	0.99×1.48	
		プロポーショナル	27×40	1.69×2.54	

* プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A: 15~37ドット B: 23~55ドット C: 0.95~2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

文字種		ドット構成 (ボディエース) ＜縦×横＞ (ドット)	文字寸法(ボディエース) ＜縦×横＞ (mm)	
2バイト系文字	7ポイント	全角	40×40	2.54×2.54
		半角	40×20	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	60×60	3.81×3.81
		半角	60×30	3.81×1.91
	12ポイント	全角	67×67	4.23×4.23
		半角	67×34	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット	67×n	4.23×m	

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズ用の紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分を順次印刷します。



- ←1バイト系 標準 パイカ文字
- ←1バイト系 標準 エリート文字
- ←1バイト系 標準 コンデンス文字
- ←1バイト系 標準 プロポーショナル文字
- ←1バイト系 イタリック パイカ文字
- ←1バイト系 イタリック エリート文字
- ←1バイト系 イタリック コンデンス文字
- ←1バイト系 イタリック プロポーショナル文字
- ←1バイト系 クーリエ パイカ文字
- ←1バイト系 クーリエ エリート文字
- ←1バイト系 クーリエ コンデンス文字

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリスイッチの状態、漢字アウトラインフォントカードの有無など、本プリンタの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次に工場設定時のステータス印刷の結果例を示します。(このステータス印刷はNPD L使用時のものですが、一部の設定はESC/Pエミュレーション、プロッタエミュレーション(オプション)でも有効です。

** プリンタ設定環境 **

Version

エンジン : 00. 00 00000000
コントローラ : 00. 00

オプションボード

無し

給紙構成

ホッパ1 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)
トレー : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、封筒、往復はがき)

動作モード

サポート言語 : NPD L ESC/P
後部インタフェース : NPD L
前部インタフェース : NPD L

メモリ

メモリ容量 : 8MB
ページプロテクト : OFF
メモリ割り当て : 標準

メモリスイッチ設定

	12345678	12345678	12345678	12345678			
MSW1 :	00000000	MSW2 :	00000000	MSW3 :	00000000	MSW4 :	00000000
MSW5 :	00000000	MSW6 :	00000000	MSW7 :	00000000	MSW8 :	00000000

1 バイト系内蔵フォント

Standard	:	PICA	ELITE	CONDENSE	PROPORTIONAL
Italic	:	PICA	ELITE	CONDENSE	PROPORTIONAL
Courier	:	PICA	ELITE	CONDENSE	PROPORTIONAL
Gothic	:	PICA	ELITE	CONDENSE	PROPORTIONAL

2 バイト系内蔵フォント

書体番号	ファイル名	フォント名
031	NMI3_CF	FontAvenue明朝体-L
251	NGO5_CF	FontAvenueゴシック体-M

文字コード表

本プリンタは、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。

1バイト系コードは、メモリスイッチ1-1~1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。

2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角(普通の漢字)の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00										HT	LF	VT	FF	CR		
10											ESC	FS	GS	RS	US	
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	+
90	⌂	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒
A0		.	「	」	.	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
B0	—	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	.	°
E0	=	≠	≠	≠	▲	▲	▲	▲	♣	♥	♦	♣	●	○	/	\
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00											HT	LF	VT	FF	CR	
10												ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	+
90	⌂	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒
A0		.	「	」	.	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
B0	—	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	.	°
E0	=	≠	≠	≠	▲	▲	▲	▲	♣	♥	♦	♣	●	○	/	\
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

注1~12 各国特殊文字が入ります(メモリスイッチ1-1~1-3で切り替えます。)

国別相違点

注 No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	s	@	[¥]	^	`	{	:	}	-		
アメリカ	#	s	@	[\]	^	`	{	:	}	-		
イギリス	£	s	@	[\]	^	`	{	:	}	-		
ドイツ	#	s	§	Ä Ö U	^	`	ä ö u	ß				
スウェーデン	#	π	É	Ä Ö Å	U	e	ä ö å	ü				

注13 8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。

注14 A~D行はひらがなモード(ESC &で指定)の場合はひらがな文字、カタカナモード(ESC Sで指定)の場合はカタカナ文字になります。

注15 0、1行は制御コードです。

注16 0、1行の空欄は無視されます。2~F行の空欄はスペース(SP)として処理されます。

注17 3行、0列の「0」の印刷字体はメモリスイッチ2-1により0に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、「J」のコードは0040+A=004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース(SP)です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	^	_		
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	-	
0080	。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
0090	-	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	ず	せ	そ
00A0	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
00B0	-	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	。	。
00E0	と	ら	つ	て	と	な	に	ぬ	ぬ	の	は	ひ	み	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	。	。

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。(本プリンタでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。)ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、「壺」のコードは3020+1=3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース(SP)です。

漢字コード表(全角文字)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120																
2130																
2140																
2150																
2160																
2170																
2220																
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2340	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2360	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2420	あ	い	う	え	お	か	き	く								
2430	ぐ	け	こ	さ	し	じ	ず	せ	そ	た						
2440	だ	ち	っ	つ	て	と	ど	な	ぬ	の	は					
2450	ば	び	び	ふ	ぶ	へ	べ	ほ	ぼ	ま	み					
2460	む	め	ゃ	や	ゅ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ			
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520	ァ	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ	カ	ガ	キ	ク					
2530	グ	ケ	ゴ	サ	シ	ジ	ズ	セ	ソ	タ						
2540	ダ	チ	ツ	ツ	テ	ト	ド	ニ	ヌ	ノ	ハ					
2550	パ	ピ	ピ	フ	フ	フ	ヘ	ベ	ホ	ポ	マ	ミ				
2560	ム	メ	ャ	ヤ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ			
2570	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	
2630	Π	Ρ	Σ	T	Φ	X	Ψ	Ω								
2640	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720	A	B	V	Г	Д	Е	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н		
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750	a	b	v	г	д	е	ж	з	и	й	к	л	м	н		
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	
3030	旭	葦	芦	鱒	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闌	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	匪
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	委	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壑	溢	逸
3070	稻	茨	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鶉	窺	丑	
3130	碓	臼	渦	噓	唄	爵	爵	鰻	姥	厥	浦	瓜	閨	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	飢	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閱	覆	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣
3170	艷	苑	園	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
3220	押	旺	橫	歐	殿	王	翁	襖	鶯	鷗	黃	岡	沖	荻	億	
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
3320	魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎚	骸	涇	擊	蛙
3340	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	扞	攪	格	核	殺	獲	確	穫
3350	覺	角	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	榮	額	頸	掛	笠	慳
3360	櫃	梶	鯀	馮	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鏗
3370	叶	桃	棒	袍	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嘴	鴨	栢	茅	萱	
3420	粥	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勤	卷	喚	堪	姦	
3430	完	官	寬	干	幹	患	感	憤	憾	換	敢	柑	桓	棺	肝	艦
3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	閑	竿	管	簡	緩	伍	翰	肝	艦
3450	莞	覲	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	館	丸	含	岸
3460	巖	玩	癌	眼	岩	翫	閭	雁	頑	顏	願	企	伎	危	棄	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	賽	
3520	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拗	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	
3630	疆	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	鄉
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駟	駟
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	鈞	厨	屈	
3720	掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	隈	象	栗	縲	桑	歛	歛	君	
3730	蕪	訓	群	軍	郡	卦	袞	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	徑	忠	慶	慧	愬	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
3750	絳	絳	繫	野	莖	荆	玟	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	囂	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

漢字コード表(全角文字)(続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820	検	権	牽	犬	猷	研	硯	絹	梟	肩	見	謙	賢	軒	遣	
3830	鍵	険	顕	験	元	原	敵	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃	
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	狐	虎	誇	跨	鉗	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	鬪
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	抗	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	藕	藕	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉞	礦	鋼	閣	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	劫	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	殺	酷	鵠	獄	獄	漉	腰	飯	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	良	魂	些	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	遶	砂	詐	鎖
3A40	裝	坐	座	挫	債	催	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	
3A50	歲	濟	災	采	犀	辟	砦	祭	齋	細	菜	裁	戴	際	劑	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	坂	堺	柵	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	策	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	參	山	慘	撤	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	讚	贊
3B40	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	雌	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	錫	雌	齒	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	聖	痔	磁	示	而	耳	自	時	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鳴	竺	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	篠	篠	偲	柴	芝	屢	藥	綺	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	警	鞅	輯	週	會	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
3D40	柔	汁	渋	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
3D50	出	術	述	峻	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	憤	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	蔞	蔞	蔞	衝	裝	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鍾	鐘	障	翰	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	娘	常
3E70	情	擾	条	杖	淨	状	疊	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	殖	飾	
3F20		拭	植	植	織	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	中	珍	眞
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	訊	陣	韌	筭	識	須	酢	仁	尉
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨
3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	収	趨	離	据	杉	椗	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勞	姓	征	性	成	政	
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	隻	席	威	斥	昔	析	
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	撰	摺	折	設
4060	窃	節	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
4070	扇	撰	栓	柄	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	踐	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	纏	噌	塑	俎	措	曾	曾	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	搜	掃	挿	搔
4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糴	綜	綜	聡
4170	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	
4220		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	屬	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	訛	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	惰	駮	驛	体	堆	
4250	对	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	轔	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	瀧	龍	卓	啄
4270	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凰	娟	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脫	巽	豎	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	單	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筆	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷	暖	禮	段	男	談	值	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	屋	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	酎	駐	樗	豬	苧	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聽	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎗	痛	通	塚	拇	摺
4450	槻	佃	漬	柘	辻	鳶	綴	鈎	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	刺	貞	呈	提	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	錠	楨	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	適	溺	哲
4530	徹	撤	徹	迭	鉄	典	墳	天	展	店	添	纏	甜	貼	軛	顛
4540	点	伝	殿	殿	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棧	棟
4570	盜	淘	湯	湯	灯	燈	当	痘	禱	等	答	箇	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	銜	陶	頭	騰	闕	働
4630	動	同	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	銅	萄	道	銅	峠	鴉	匿
4640	得	德	漬	特	督	秃	篤	毒	独	訖	枋	椽	凸	突	般	届
4650	薦	苦	寅	酉	滯	頓	屯	惇	敦	沌	豚	遜	頓	吞	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	夙	難	謎	灘	捺	鍋	馴	馴	繩	駁	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弑	邇	勻	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	襪	襪	襪	葱	貓	熱	年
4730	念	捻	燃	燃	粘	乃	迺	迺	塗	糞	惱	惱	納	能	腦	膿
4740	農	覲	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	庖	排	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	配	配	倍	培	媒	梅
4760	煤	煤	狼	買	壳	賠	陪	逄	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	

漢字コ一卜表(全角文字)(続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	碯	箬	肇	筍	櫛	幡	肌	畑	畠	八	鉢	潑	発
4830	穢	髪	伐	罰	抜	伐	閑	鳩	嘶	鳩	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	采	煩	煩	飯	挽	晩	番	盤	碧	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	箴	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美	
4920		鼻	柝	稗	匹	疍	髭	彦	膝	菱	肘	躬	必	畢	筆	逼
4930	檜	姫	媛	紐	百	謬	依	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	鋤	鈺	蒜	姪	鱒	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	爰	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	落	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	復	覆	弗	沸	弘	沸	仏	物	鮎	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	莢	奮	閉	莖	糞	粉	文	聞	丙	併	兵	屏	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	辺	返	遍	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	保	誦	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	奉	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	崩	崩	抱	捧	放	方	邦	鋒	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	峯	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	坊	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	坊	防	吠	煩	北	僕	卜	墨	
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鈎	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	沫	枚	每	哩	嶺	幕	膜	枕	鮪	枉
4B70	鱒	樹	亦	僕	又	抹	沫	沫	迄	儘	蕪	磨	万	慢	滿	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	養	稔	脈	妙
4C30	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷓	掠	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牡	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	絛	蒙	儲	木	黙	目	空	勿	餅
4C60	尤	戾	刼	貫	問	悶	紋	門	匄	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	藥	訊	躍	靖	柳	蔽	鍵	愉	愈	油	癒	
4D20		論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	覽	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	龍	侶	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌
4E40	寮	料	梁	涼	獠	療	稜	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	綠	倫	厘	林	淋	淋	臨	臨	輪	隣	隣	隣	溜	翌	淚	累
4E60	類	令	伶	例	冷	嶺	嶺	伶	禮	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	煉	煉	恋	隣	隣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	鍊	呂	魯	爐	爐	路	路	露	勞	其	廊	弄	朗
4F30	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	雙	蠟	郎	六	籠	祿	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	粹	驚	互	互	鯨	詫	藁	蕨
4F50	腕	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		式	丐	丕	个	卍	、	井	丿	乂	乖	飛	亂	丿	豫	爭
5030	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	伏	仗
5040	仞	仞	仞	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	伴	來	侖	俛	俛	俛	俛	俛	俛	俛	俛	俛	俛
5060	俚	倚	倨	倨	倪	控	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅
5070	偃	假	會	偕	修	偈	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣
5120		僉	僂	傳	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5130	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5140	兩	兪	兮	冀	門	回	册	冉	冏	青	菁	冕	冏	冕	冏	冏
5150	寫	寫	冫	決	冫	冲	冰	况	冽	涸	涼	凜	几	處	凜	凜
5160	鳳	口	函	刃	刊	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌
5170	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
5220		劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
5230	勸	勺	勿	匈	匈	匈	匈	匈	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
5240	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
5250	厥	厥	厥	厶	參	纂	雙	叟	曼	雙	叮	叭	叭	叭	叭	叭
5260	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呖	咏	呵	咭	呱	呱	呱	呱
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咄	咄	哇	骂	威	咬	咬	哄	哈	杏	
5320		呶	晒	吃	咄	咄	咄	哥	哦	唏	唔	唔	啤	哭	哺	呀
5330	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5340	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5350	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5360	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5370	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5420		囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹
5430	坩	垂	垩	坡	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5440	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5450	墅	壩	墟	埠	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩
5460	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩	壩
5470	夭	卒	夸	夾	奇	奕	奕	奎	奚	裝	奢	奠	奧	獎	奩	
5520		奸	灼	妝	倭	倭	妣	妣	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼
5530	娑	娜	娉	娉	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼
5540	媽	媽	媽	媽	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼
5550	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃
5560	它	宦	宸	寃	寇	雀	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢
5570	寶	尅	將	專	對	尔	尪	尪	尪	尸	尹	尼	屆	屎	頁	
5620		屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐
5630	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5640	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5650	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5660	巫	已	卮	帛	帶	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛
5670	幟	幟	幣	幣	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5720		廖	廣	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌
5730	井	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃
5740	互	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
5750	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙
5760	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙
5770	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆

漢字コード表(全角文字)(続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820	茵	苜	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕
6830	莪	荅	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢
6840	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘
6850	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢
6860	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯
6870	莠	蔡	宿	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴
6920	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴	蓴
6930	薛	預	蓄	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘	菘
6940	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋
6950	蚩	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪
6960	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟
6970	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
6A20	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
6A30	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
6A40	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟
6A50	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾
6A60	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
6A70	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌	褌
6B20	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦
6B30	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬	覬
6B40	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐	訐
6B50	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭	詭
6B60	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛
6B70	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳	謳
6C20	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫
6C30	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿	谿
6C40	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊	貊
6C50	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽
6C60	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮
6C70	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
6D20	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
6D30	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅
6D40	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
6D50	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
6D60	標	標	標	標	標	標	標	標	標	標	標	標	標	標	標	標
6D70	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅
6E20	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐
6E30	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
6E40	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃
6E50	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
6E60	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
6E70	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
6F20	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙
6F30	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
6F40	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
6F50	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
6F60	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭	閭
6F70	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝
7030	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
7040	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
7050	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜
7060	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
7070	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
7120	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤
7130	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽
7140	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒
7150	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁
7160	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾
7170	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀
7220	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀	髀
7230	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄
7240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
7250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
7260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
7270	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱
7320	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7330	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓
7340	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓
7350	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
7360	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽
7370	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤	胤
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

ディスプレイ表示一覧

表示の種類	表 示	表示の意味
通常表示	ホッパ XXX XXX	ホッパ給紙を選択しています。
給紙方法に関する表示	トレー XXX XXX	トレー給紙を選択しています。
	ホッパ1 XXX XXX	上から1段目のホッパからの給紙を選択しています。*
	ホッパ2 XXX XXX	上から2段目のホッパからの給紙を選択しています。*
	ホッパ3 XXX XXX	上から3段目のホッパからの給紙を選択しています。*
	用紙サイズに関する表示	XXX A3 XXX
XXX B4 XXX		B4サイズの内紙を選択しています。
XXX A4 XXX		A4サイズの内紙を選択しています。
XXX B5 XXX		B5サイズの内紙を選択しています。
XXX A5 XXX		A5サイズの内紙を選択しています。
XXX 3/4LT XXX		レターサイズの内紙を選択しています(ホッパ使用時)。
XXX LT XXX		レターサイズの内紙を選択しています(トレー使用時)。
XXX ハガキ XXX		はがきサイズの内紙を選択しています。
XXX フウトウ XXX		封筒サイズの内紙を選択しています。(トレー使用時)
XXX A4タテ XXX		A4サイズ(縦置き)の内紙を選択しています。(トレー使用時)
XXX A4ヨコ XXX		A4サイズ(横置き)の内紙を選択しています。(トレー使用時)
XXX ハガキ×2 XXX		往復はがきサイズの内紙を選択しています。(トレー使用時)
縮小/拡大モードに関する表示		XXX A4→A3 XXX
	XXX B4→A3 XXX	B4サイズのデータをA3サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	XXX B4→A4 XXX	B4サイズのデータをA4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX LP→A4 XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX A3→A4 XXX	A3サイズのデータをA4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX A4X2 XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX B5→A4 XXX	B5サイズのデータをA4サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	XXX LP→B4 XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX A3→B4 XXX	A3サイズのデータをB4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX A4→B4 XXX	A4サイズのデータをB4サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	XXX B5→B4 XXX	B5サイズのデータをB4サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	XXX A4→B5 XXX	A4サイズのデータをB5サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX B4→B5 XXX	B4サイズのデータをB5サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX B5X2 XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。

* オプションの増設ホッパを取り付けている場合のみ表示されます。

表示の種類	表示	表示の意味
通常表示		
印刷方向に関する表示	XXX XXX ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。
	XXX XXX ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。
用紙の種類に関する表示	フツウシ XXX XXX	普通紙を選択しています。
	アツガミ XXX XXX	厚紙を選択しています。
	OHP XXX XXX	OHPシートを選択しています。
動作モードに関する表示	XXX XXX NPD L	動作モードにNPD Lモードを選択しています。
	XXX XXX ESC/P	動作モードにESC/Pモードを選択しています。
	XXX XXX プロッタ	動作モードにHPGLモードを選択しています。*
ステータス表示		
	コピー XX マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大20枚まで設定できます(ユーザーズガイド[2/3]参照)。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向(例：“ホッパA4ポート”)の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚(オリジナルのみ)の場合には表示されません。
	ホッパ XX ホキユウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。増設ホッパを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパ番号が表示されます。
	トレー XX セット	コンピュータから印刷データを受信しましたが、トレーに用紙がセットされていないので印刷できません。表示されているサイズの用紙をトレーにセットしてください。
	イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
	ウォームアップ アト XXピョウ	ウォームアップ中です。XXの箇所に残り時間が表示されます。
	ジュシンチュウ	データを受信中です。
	ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、排出可能となるまで表示されます。
	インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで、表示されます。
	テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
	データガノコッテイマス	未印刷データがプリンタ内に残っています。
	16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
	リセットジッコウ	リセットを実行します。
アラーム表示		
	ホッパX XX ホキユウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。増設ホッパを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパ番号が表示されます。
	72 カバーオープン ホンタイ	上部ユニットまたはフロントカバーが開いています。
	72 カバーオープン リョウメン	両面印刷カバーが開いています。
	73 EPカートリッジナシ	EPカートリッジが取り付けられていません。
	74 カミツマリ ホンタイ リョウメン キュウシ	プリンタ本体、両面印刷ユニット、給紙部で紙づまりが発生しています。ディスプレイ下段には紙づまりが発生している箇所のみ表示されます。
	75 ヨウシサイズエラー X	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。増設ホッパを取り付けている場合には、Xの箇所に選択しているホッパ番号が表示されます。

* オプションのプロッタエミュレーションボードを取り付けている場合のみ表示されます。

表示の種類	表示	表示の意味
アラーム表示	76 トナーナシ トナーホキユウ	トナーの補給時期です。(補給型EPカートリッジ使用時)。
	76 トナーナシ EPコウカン	EPカートリッジの交換時期です。(一体式EPカートリッジ使用時)。
	77 テイキホシュ	定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。
	82 メモリオーパー	データを印刷するためのメモリが不足しています。
	83 インサツフカ	プリンタのメモリオーパーのため解像度をおとして印刷しようとしたがそれでもメモリが不足したため印刷できませんでした。
	84 フォーム オーバーXXX	フォーム登録に必要なメモリが不足しています。
	87 OPCジュミョウ EPコウカン	OPCの寿命が近づきました。
	88 EPタイプチガイ EPコウカン	EPカートリッジのタイプが違います。
	18 コール 18	オプションの漢字アウトラインフォントカードに異常があります。
	01 コール 01 ～ 40 コール 40 この他の表示(コール18は除く)	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については ユーザーズマニュアル [2/3]をご覧ください。	

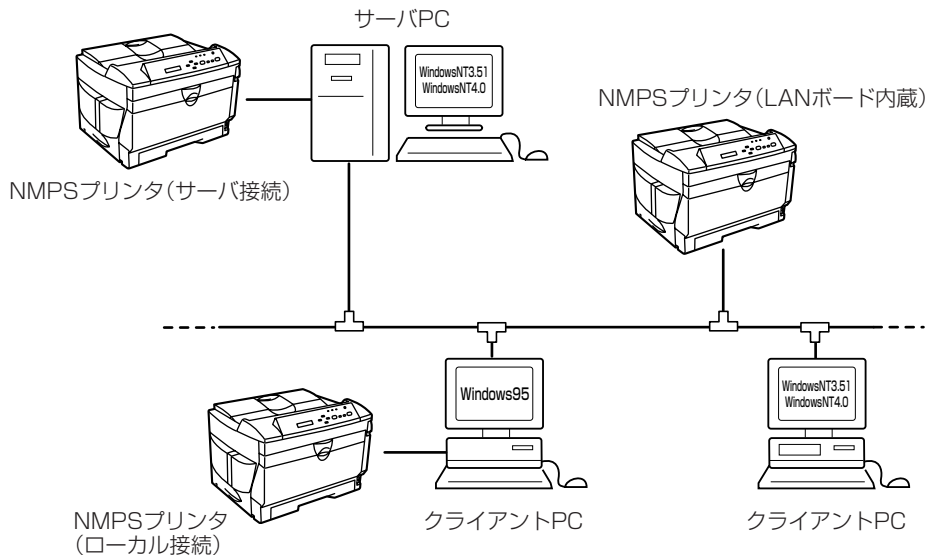
ESC/Pエミュレーションについては、**ユーザーズガイド**[2/3]「ESC/Pエミュレーションでの機能」(177ページ)を参照してください。

斜体文字はディスプレイ下段の表示です。

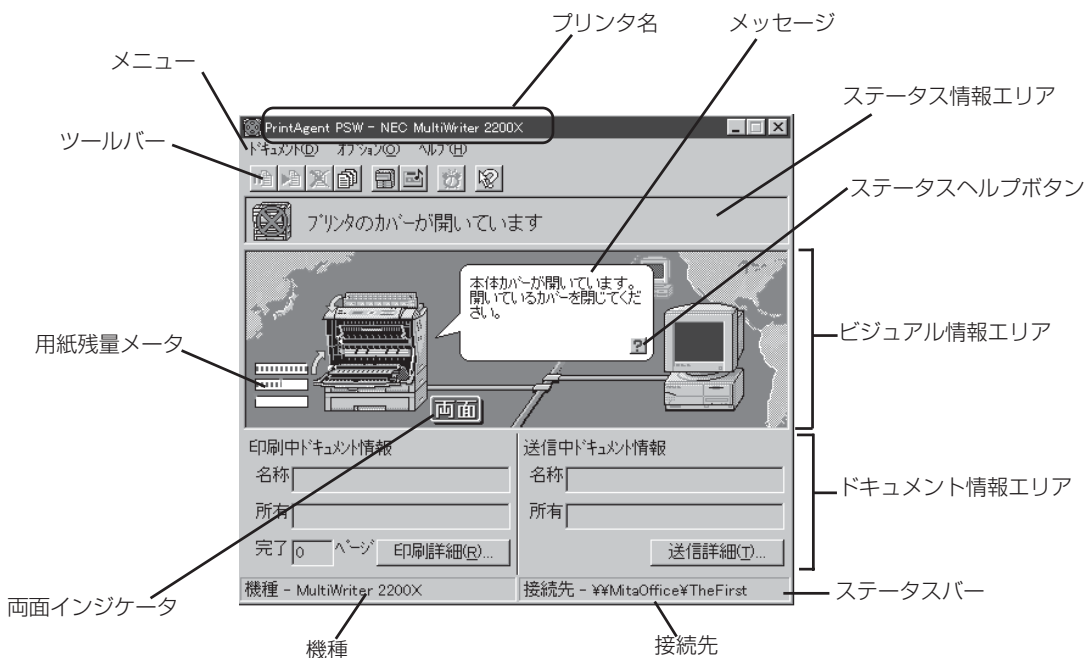
PrintAgent通知一覧

PrintAgentのプリンタステータスウィンドウとリモートパネルは、プリンタがローカル接続/サーバ接続されているかどうかによって利用できる機能や通知できる内容に違いがあります。

ここでは、プリンタステータスウィンドウとリモートパネルの表示を一覧し、その違いを示します。



プリンタステータスウィンドウ



表K-1 プリンタステータスウィンドウの表示

表示項目	L/S	LAN
プリンタ名	○	○
「ドキュメント」メニュー	○	○
[一時停止]	○	○
[印刷再開]	○	○
[印刷中止]	○	×*1
[リプリント機能]	○	○
「オプション」メニュー	○	○
[プリンタの構成情報]	○	○
[通知形式]	○	○
[ウォームアップ開始]	○	○
「ヘルプ」メニュー	○	○
[目次]	○	○
[バージョン情報]	○	○
ツールバー	○	○
[一時停止] ボタン	○	○
[印刷再開] ボタン	○	○
[印刷中止] ボタン	○	×*1
[リプリント機能] ボタン	○	○
[プリンタの構成情報] ボタン	○	○
[通知形式] ボタン	○	○
[ウォームアップ開始] ボタン	○	○
[ヘルプ] ボタン	○	○
ステータス情報エリア (表K-2参照)	○	○*2
ビジュアル情報エリア	○	△
吹き出し	○	○
ステータスヘルプボタン	○	○
用紙残量メータ	○	○
両面インジケータ	○	○
データ送信アニメーション	○	○
用紙排出アニメーション	○	○
節電状態アニメーション	○	○
音声メッセージ	○	○*2
「印刷中ドキュメント情報」	○	○
「送信中ドキュメント情報」	○	○
「プリンタ機種名」	○	○
「接続先」	○	○

L/S: ローカル/サーバ接続

○: 表示/実行可能

LAN: マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01、PC-PR-L02)接続

△: 表示/実行一部不可

×: 表示/実行不可

*1 実行可能ですが実行後印刷データが残ったままになります。

*2 表示がプリンタの動作、状態と一致しないことがあります。

表K-2 ステータス情報エリアの表示

ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	L/S	LAN
通常	印刷できます	印刷を終了しました	○	○
通常	印刷ドキュメントを準備中です	-----	○	○
通常	印刷をしています	印刷を開始します 印刷が再開されました	○	○
通知	印刷ドキュメントを削除中です	印刷を取りやめました	○	○
通知	プリンタはウォーミングアップ中です	-----	○	○
通知	プリンタのもう一方のポートで印刷しています	-----	○	○
通知	トナーが減少しています	-----	○	○
通知	プリンタの情報を取得中です	-----	○	○
通知	プリンタの情報が取得できません	-----	○	○
通知	リセットが実行されました	-----	○	○
通知	テスト印刷を実行中です	-----	○	X
通知	16進ダンプ印刷を実行中です	-----	○	X
通知	ネットワークプリンタの情報が取得できません	-----	○	○
通知	ネットワーク関連の内部エラーです	-----	○	○
通知	OPC寿命です	-----	○	○
通知	プリンタは節電状態になっています	-----	○	○
エラー	ネットワークプリンタの状態が不明です	-----	○	○
エラー	電源がOFFかケーブルが接続されていません	プリンタの応答がありません	○	○
エラー	印刷可スイッチが押されていません	印刷可スイッチが押されていません	○	○
エラー	接続されているプリンタはサポートされていません	このプリンタはサポートしていません	○	○
エラー	ドキュメントの印刷を一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○
エラー	プリンタは一時停止中です	-----	○	○
エラー	用紙がありません	用紙がありません	○	○
エラー	指定サイズと異なる用紙がセットされています	正しい用紙がセットされていません	○	○
エラー	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	○	○
エラー	紙づまりです	紙づまりです	○	○
エラー	EPカートリッジが入っていません	EPカートリッジが入っていません	○	○
エラー	プリンタのカバーが開いています	プリンタのカバーが開いています	○	○
エラー	トナーが減少しています	-----	○	○
エラー	プリンタのメモリが不足しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
エラー	ネットワークプリンタはオフライン作業中です	オフライン作業中です	○	○
エラー	状態が取得できません	-----	○	○
エラー	プリンタで障害が発生しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
エラー	EPカートリッジが間違っています	EPカートリッジが入っていません	○	○
エラー	用紙カセットが入っていません	用紙がありません	○	○
エラー	OPC寿命です	-----	○	○

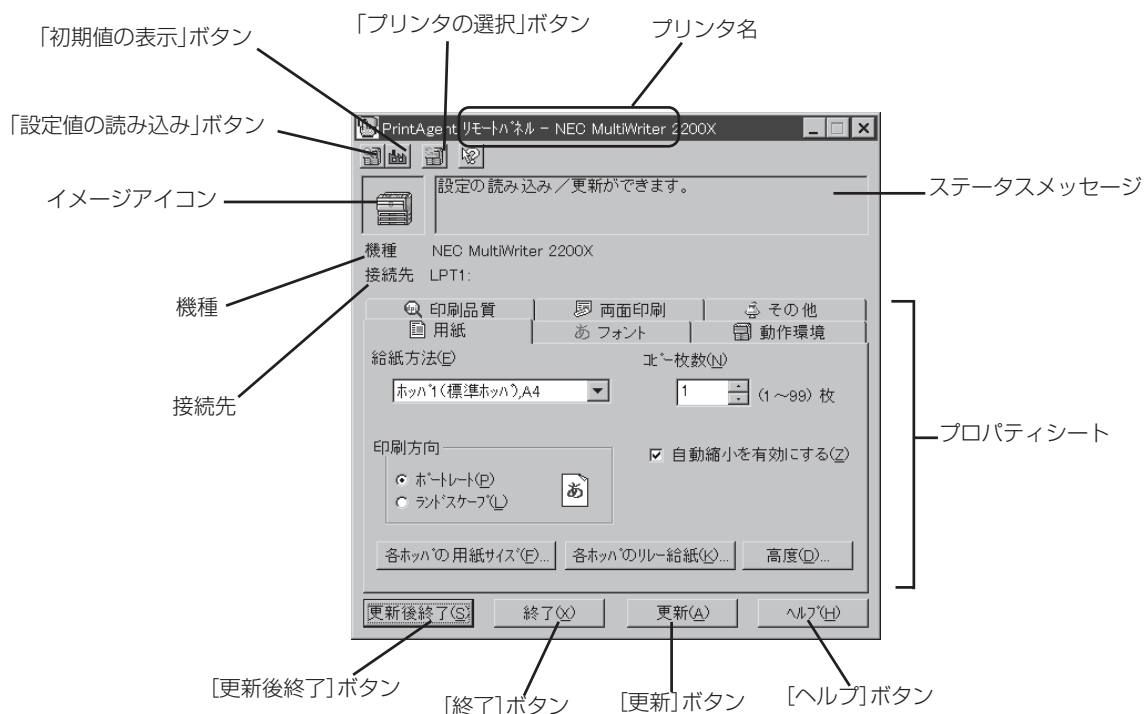
L/S: ローカル/サーバ接続

○: 表示/実行可能

LAN: マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01、PC-PR-L02)接続

×: 表示/実行不可

リモートパネル



表K-3 リモートパネルの表示

表示項目	L/S	LAN
プリンタ名	○	○
ツールバー	○	○
「初期値の表示」ボタン	○	○
「設定値の読み込み」ボタン	○	○
「プリンタの選択」ボタン	○	○
イメージアイコン	○	○*
「機種」	○	○
「接続先」	○	○
ステータスメッセージ	○	○
プロパティシート	○	○
「更新後終了」ボタン	○	○
「終了」ボタン	○	○
「更新」ボタン	○	○
「ヘルプ」ボタン	○	○

L/S: クライアント/サーバ接続

○: 表示/実行可能

LAN: マルチプロトコルLANボード接続(PC-PR-L01、PC-PR-L02)

×: 表示/実行不可

* 表示がプリンタの動作、状態と一致しないことがあります。

IBM DOS J5.0/Vでの設定

IBM社製のDOSでWindows 3.1を使用する場合、正常に印刷されないことがあります。その場合、以下の手順でDOS上のプリンタ設定を「なし」にしてください。(Windows 上では使用するプリンタを設定します。)

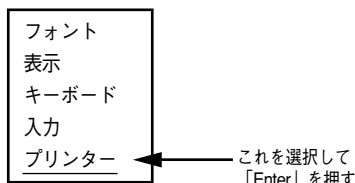
1. PCの電源を入れます。

2. PCを「DOSモード」に設定します。
設定の仕方については、PCの取扱説明書を参照してください。
WindowsのDOSプロンプトモードからの設定は操作が複雑となりますのでお勧めできません。

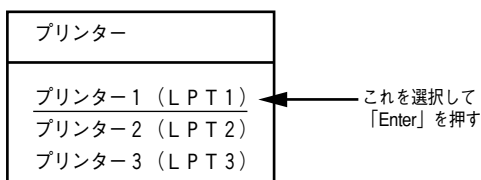
3. 次のコマンドを入力しセットアッププログラムを立ち上げます。

>setupv 

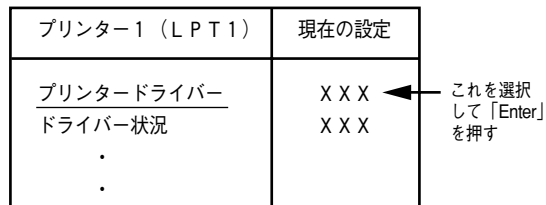
4. 「プリンター」を選択します。




5. 「プリンター 1 (LPT1)」を選択します。

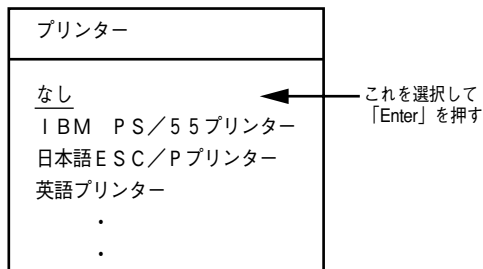



6. 「プリンタードライバー」を選択します。



ここで、現在の設定が「なし」になっている場合には、設定を変える必要はありません。を押して、操作を終了してください。

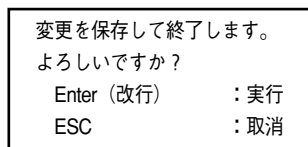
7. 「なし」を選択します。



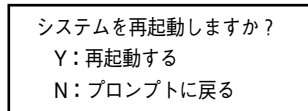
8. 次のような表示が出ますので、プリンタードライバーが「なし」になっていることを確認し、を押します。

プリンター 1 (LPT1)	現在の設定
プリンタードライバー	なし

9. を押して、変更を保存します。



10. を押して、システムを再起動させます。



これで、設定は終了です。

用語解説

16進ダンプ印刷

プリンタが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。

201PL

NECのシリアルプリンタ用標準コードのこと。

CR

Carriage Return キャリッジリターンの略。プリンタの制御コード(コマンド)のひとつ。

DPI

Dots Per Inchの略。プリンタの解像度などを表す単位。1インチ当たりのドット数。(→解像度)

EDO

Extended Data Outputの略。高速なアクセスを行うメモリー素子の方式で、PC/AT互換機ではすでに一般的。

ESC/P

セイコーエプソン社が開発したプリンタを制御する命令(コマンド)の集まりのこと。

FF

改ページを行う。

IrDA

Infrared Data Associationの略。[ポイントアンドビーム]データ転送に関する国際規格で、赤外線接続によるコンピュータおよびプリンタ相互間の通信方式を規定するもの。

LPI

Lines Per Inchの略。1インチ当たりの行数。

NMPS

NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンタの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンタ記述言語。

PrintAgent

NMPS機能の一部で、双方向通信を可能にし、印刷状況の確認、プリンタの設定をコンピュータ画面上から実現したソフトウェア。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマ

使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニタの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

RS-232C

プリンタと上位装置(プリンタを制御する装置：コンピュータ等)間のインタフェースの一つ。シリアル(直列)伝送で最も一般的なハードウェア上の規格。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。コンピュータネットワークのプロトコルとして使われている。UNIXを初めOS/2、System7.5(Macintosh)、Windows95など、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

Windowsアプリケーションで作成された文書を印刷する作業のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンタに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。縦向きと横向きがある。

印刷範囲

プリンタ用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インタフェース

2つの装置(デバイス)を通信できるように接続するもの。

ウォームアップ

プリンタの電源をONにした後、定着部などが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他の装置(プリンタ)のために開発されたソフトウェアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンタの制御コードが使用できる場合を201PLEミュレーションと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字で印刷する文字のこと。

解像度

プリンタが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ当たりのドット数で表す(単位はDPI)。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC (1BH)、FS (1CH)、のようにあとに続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。

基本制御コード

制御コードのうち、CR (0DH)、LF (0AH)のように単独で機能を表すコード。

クライアント

ネットワークを介して他のコンピュータ(またはサーバ)にアクセスしている利用者または、利用者のコンピュータ。

コマンド

コンピュータに行わせたい作業を実行するために選択または、入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。

シリアルプリンタ

文字単位で印刷を行うプリンタ。

制御コード

プリンタの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。

双方向通信

コンピュータとプリンタとの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。コンピュータから印刷データが送られるだけでなく、プリンタからもコンピュータに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には双方向通信可能なプリンタインタフェースを装備したコンピュータであるがネットワークで接続されていることが必要。

セントロニクス

プリンタと上位装置(プリンタを制御する装置：コンピュータ等)間のインタフェースの一つ。

8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンタ用のインタフェース規格として広く使用されている。

テストページ

プリンタが正常に動作していることを確認するためのもの。

パイカ文字

1インチ当たり10文字で印刷する文字のこと。

バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。これをバッファフル印刷という。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

プリンタケーブル

コンピュータとプリンタを接続するケーブル。インタフェースケーブルとも呼ばれる。

プロポーショナル文字

印刷される文字により、印刷幅を変えて印刷する文字のこと。

ページ記述言語

1ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンタ

ページ単位で印刷を行うプリンタ。

ポイント(文字の)

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

プリンタなどの装置をコンピュータに接続するために使うコネクタ。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットの
一つ。

メモリ

データを保存する装置。または情報やプログラムの一
時的な記憶場所。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットの
一つ。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイ
ズの用紙1000枚当たりの重さをいう(マニュアルで使
用している用紙の連量は、70kg)。

索引

英数字

EPカートリッジ	12
ESC/Pエミュレーションサポートコマンド	62
IBM DOS J5.0/Vでの設定	100
NPDLの初期状態	54
PrintAgent通知一覧	96

あ

安全上のご注意	2
安全にかかわる表示	ii
印刷位置	51
印刷範囲	48
インタフェース	56
オプション一覧	8
オプションと消耗品	7

か

海外でのご使用	ii
漢字アウトラインフォントカード	38
テスト印刷	39
フォントカードの取り付け	38
フォントカードを使って印刷するには	41
記号	iv
疑似OCR-Bフォント	79
機能拡張制御コード	63
クリーニングキット (PC-PR601-14)	12
警告ラベル	ii, 1
コネクタピン配置	58

さ

仕様	45
商標について	iv
消耗品	12
図形モード	61
ステータス印刷	85
制御コード一覧	59
赤外線通信インタフェースアダプタ(PC-CA291)	28
接続例	29
動作環境	28
取り付け	29
赤外線通信インタフェースボード(PC-PR-R01)	25
接続例	26
動作環境	25
取り付け	26

増設RAMサブボード	42
サブボードの取り付け	42
テスト印刷	44
増設カセット	23
取り付け	23
増設ホッパ	13, 14
設置に必要なスペース	14
テスト印刷	20
取り外し	22
プリンタの設定	17
ホッパの選択	18
用紙のセット	16

た

タイムチャート	57
定形外用紙	50
定形用紙	48
ディスプレイ表示一覧	93
テキストモード	59
テスト印刷のプリント結果	82
電気的特性	58
電源の瞬時電圧低下対策	ii
電波障害自主規制	ii

な

内蔵文字	80
日本語ページプリンタ言語リファレンスマニュアル	11

は

プリンタステータスウィンドウ	96
プロッタエミュレーションボード	31
テスト印刷	34
ボードの取り付け	32
ポートレート	48

ま

マルチプロトコルLANボード	35
ボードの取り付け	37
文字コード表	86
文字構成	81
文字の種類	80

や

用紙の規格と印刷範囲 47

ら

ランドスケープ 49

リモートパネル 99

漏洩電流自主規制 ii